

環境レポート

資料編

～各政策に対応する「令和元年度事務事業実績評価表」～

長野県 飯田市

21' いいだ環境プランで掲げられた各政策に対応する事務事業実績評価表

事業No.	(※カッコ内は掲載ページ)	事業No.	
13	総合的な空家対策事業 (2)	191	森林資源活用推進事業 (34)
33	交通体系整備事業 (3)	192	森づくり市民活動支援事業 (35)
46	リニア駅周辺整備事業 (4)	193	林業施設管理運営事業 (36)
139	環境衛生事業 (5)	194	森林公園維持管理事業 (37)
142	環境保全推進事業 (6)	200	起業家育成支援事業 (38)
143	環境汚染対策事業 (7)	201	中小企業金融対策事業 (39)
144	自然環境保全推進事業 (8)	232	社会基盤維持管理事業 (40)
145	環境教育推進事業 (9)	239	天竜川総合学習館管理運営事業 (41)
146	ISO14001 推進事業 (10)	243	土地利用計画推進事業 (42)
147	環境モデル都市行動計画進行管理事業 (11)	245	公園維持管理事業 (43)
148	おひさまのエネルギー利用推進事業 (12)	246	飯田子どもの森管理運営事業 (44)
149	もりのエネルギー利用推進事業 (13)	265	大平宿泊訓練施設管理事業 (45)
150	新エネルギー推進リーディング事業 (14)	302	学習交流支援事業 (46)
151	環境にやさしい交通社会形成事業 (15)	305	環境学習交流支援事業 (47)
152	省エネルギー推進事業 (16)	313	美術博物館資料調査研究・収集保管事業 (48)
153	エコライフ啓発普及事業 (17)	314	美術博物館展示公開事業 (49)
154	3R 推進事業 (18)	315	美術博物館教育普及・活動支援事業 (50)
155	地域環境美化推進事業 (19)	316	美術博物館プラネタリウム運営事業 (51)
156	ごみ適正処理事業 (20)		
157	最終処分場管理事業 (21)		
167	日本型直接支払事業 (22)		
170	元気な農村づくり推進事業 (23)		
171	堆肥センター運営事業 (24)		
182	林業振興事業 (25)		
183	森林づくり推進事業 (26)		
184	森林集約化事業 (27)		
185	森林環境教育事業 (28)		
186	森林病虫害対策事業 (29)		
187	森林鳥獣被害対策事業 (30)		
188	林道管理事業 (31)		
189	林道整備事業 (32)		
190	治山関連事業 (33)		

1 事業概要

		課名	ムトスまちづくり推進課	事業No.	13
事務事業名		会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
		開始	H26	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画	○	8	新時代に向けたこれからの地域経営の仕組みをつくる	
			2	飯田市への人の流れをつくる	
	分野別計画			飯田市空家等対策計画	
法令・例規等			空家等対策の推進に関する特別措置法		
			飯田市空家等の適正な管理及び活用に関する条例		
事業目的	対象	空き家			
	意図	空き家化の防止に努め、空き家となっても、適正に管理され、必要に応じて移住者等利用希望者の活用を進めます。周辺の住環境に悪影響を与える空き家については除却等の助言、指導をします。			

2 事業内容

1年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)			
		<ul style="list-style-type: none"> 空家情報バンク制度及び当該制度に係る補助制度により、空き家の活用と流通の促進を図りました。 まちづくり委員会に空き家のニーズ等の情報を提供し、移住定住に向けた取組を進めました。 空き家化の予防及び空き家の適正管理について広報を行いました。 空家等審議会を開催し、空家等対策計画の実施を進めました。 管理不全の空き家等の状況を確認し、所有者への助言・指導により、特定空家4戸の解体ほか、適正管理等の対応を促進しました。 	<ul style="list-style-type: none"> 空き家詳細調査業務委託 空家バンク相談業務・登録事前調査委託 空き家活用等事業補助 特定空家解体補助金 委員報酬・謝礼・臨時職員賃金・対策経費 その他の経費 	2,343	80	1,374	1,059	2,364	0	
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	空家バンク登録件数	件	30	15	30	15	30	22		
	空家バンク成約件数	件	10	10	10	8	10	12		
	空き家の詳細調査件数	件	400	481	300	423	300	150		
	危険空家等所有者への指導、助言件数	件	30	35	30	32	30	75		
	特定空家の自主解体件数	件			3	3	3	4		
1年度決算(千円)	予算額		18,444							
	決算額		7,220							
	財源の状況	国庫支出金	0							
		県支出金	0							
		地方債	0							
		その他	0							
一般財源		7,220								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	2	1	5	10	9	18,444	7,220	空き家対策事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		<ul style="list-style-type: none"> 空き家は増加傾向にあり、課題のある空き家も増えて対応に苦慮する状況となっています。 特定空家の取組で一定の成果はありましたが、まだ解決困難な特定空家が残されています。 空家バンクに多くの利用登録がありましたが、物件数が少なく希望に応えられない状況です。 地域で移住定住のために活用できる空き家の掘り起こしが始まりましたが、成果につながるのはこれからの状況です。 							
上記の課題解決のための有効策		<ul style="list-style-type: none"> 課題のある空き家の発生を防ぐため、地域と協働した広報活動等が有効です。また、特定空家の課題解決には、粘り強い取組が必要です。 活用できる空き家の掘り起こしには、地域と連携した取組が有効です。 							
次年度に向けての取り組み		<ul style="list-style-type: none"> 危険な空き家の所有者には、助言・指導を行って改善を求め、特定空家の所有者には、集中的な助言・指導と特定空家解体補助の活用により除却を進めます。 移住定住に向けた空き家の活用に取り組む地域の活動を支援し、効果的な空き家の活用を促進します。 							

1 事業概要

課名		リニア推進課	事業No.	33
会計		一般会計		
事業区分		政策	実施区分	継続
開始		H10	終了	
事務事業名		交通体系整備事業		
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画	○	12	リニア時代を支える都市基盤を整備する
	分野別計画			
法令・例規等				
事業目的	対象	市民		
	意図	市民の地域公共交通利用		

2 事業内容

1年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)						
	飯田市地域公共交通改善市民会議を開催し、バス・乗合タクシーの運行、利用促進について協議しました。乗合タクシー山本西部山麓線の実証運行を行い、本格運行の基準を満たしたため、令和2年4月から本格運行を決定しました。マタニティ割引の導入と公共交通の日（バス運賃割引）を実施し、新たな利用者の確保に努めました。 EVバス運行実証に向けた「新たなモビリティの活用実証に係る基本協定」を締結しました。 新たなモビリティ検討チーム勉強会を開催し、自動運転とMa a Sの研究に取り組みました。		一般乗合旅客自動車運送事業補助金			116,952							
			地域公共交通改善市民会議負担金			3,180							
			南信州広域連合負担金（地域公共交通事業）			1,581							
			地域公共交通改善市民会議委員報酬ほか			245							
			その他の経費			0							
			指標名（数値で表せる活動量）		単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
						計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
			運行支援する市民バス路線数		路線	9	9	9	9	9	9		
			運行支援する乗合タクシー路線数（実証含む）		路線	14	14	13	13	14	14		
地域公共交通改善市民会議開催数		回	2	2	2	3	2	2					
実証運行路線数		路線	1	1	0	0	1	1					
バスの年間延べ利用者数		人	364,715		368,859		354,394						
乗合タクシーの年間延べ利用者数（実証含む）		人	22,110		20,782		19,317						
1年度決算(千円)	予算額		134,295		特定財源内訳及び補足事項								
	決算額		121,958		(地) 過疎対策（充当率100%）								
	財源の状況	国庫支出金		0		(そ) 財産収入							
		県支出金		0									
		地方債		35,400									
		その他		7,315									
一般財源		79,243											

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	2	1	9	15	1	134,295	121,958	市民バス等運行業務費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		・利用者数は373,711人で、前年度比4.1%・年間延べ15,930人減少しました（バス利用者：前年度比3.9%・年間延べ14,465人減少、乗合タクシー利用者：7.0%・1,465人減少）。バス利用者の減少は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための高等学校の臨時休校が影響しました。 ・乗合タクシーの利用者が減少しており、新たな利用者の獲得が必要です。							
上記の課題解決のための有効策		・地域公共交通改善市民会議及び部会において、利用者の意見を聞きながら、ダイヤ及び停留所を検討する等して、利用者にとって使いやすい公共交通を提供します。乗合タクシーの乗り方教室を実施し、利用者の掘り起こしを行います。 ・新たなモビリティ（自動運転、Ma a S、EV等）活用の検討に取り組みます。							
次年度に向けての取り組み		・伊那谷自治体会議との連携、新たなモビリティ検討チーム会議を開催し、二次交通の検討を進めます。 ・EVバスの運行実証を実施します。							

1 事業概要

		課名	リニア整備課	事業No.	46
事務事業名		会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
		開始	H27	終了	R9
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画	○	12	リニア時代を支える都市基盤を整備する	
	分野別計画				
法令・例規等					
事業目的	対象	リニア駅周辺			
	意図	リニア開業に向け、駅周辺を整備する			

2 事業内容

1年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)				
	平成29年度から実施してきたリニア駅周辺整備デザイン会議での検討内容や、意見交換会・説明会等での意見を踏まえて、令和元年度にリニア駅周辺整備の基本設計を策定しました。 基本設計の概要版であるデザインノートによりパブリックコメントや地区等への説明会を実施し、多様な意見の聴取を行いました。また、持続可能性の観点から踏まえた概算事業費の算定も行いました。 駅周辺整備区域内における整備に向けて、関係機関との調整を行い、国の制度等を活用して用地取得ができるようになりました。		デザイン協議会等報償費					619			
			デザイン協議会等旅費					890			
			リニア駅周辺整備関連業務等委託料					65,576			
				その他の経費		1,808					
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
	リニア駅周辺整備事業実施設計	%					0	0			
	リニア駅周辺整備事業基本設計	%	50	50	75	75	100	100			
	用地補償関連測量等委託料	%			60	60	90	90			
1年度決算(千円)	予算額	202,054	特定財源内訳及び補正事項								
	決算額	68,893	(そ)ふるさと寄附金 18,594千円								
	財源の状況	国庫支出金	0	(そ)リニア中央新幹線飯田駅整備推進基金繰入金 46,982千円							
		県支出金	0	30→1 繰越明許費 33,761千円							
		地方債	0	1→2 繰越明許費 110,286千円							
		その他	65,576								
一般財源	3,317										

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	2	1	17	10	5	202,054	68,893	リニア駅周辺整備事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識 ・リニア駅周辺整備基本設計を策定するとともに、概要版としてのデザインノート作成や持続可能性の観点を踏まえた概算事業費の算定を行いました。今後の、実施設計を行っていく上で必要となるディテールや管理など様々な具体的検討を進めていく必要があります。									
上記の課題解決のための有効策 ・実施設計の協議や作業と並行して、3つのプロジェクト体制による更なる研究と検討を進め、それらと連携を取りながら最終的な駅周辺整備の姿の構築を進めていきます。									
次年度に向けての取り組み ・リニア駅周辺整備の基本設計の内容を踏まえ、実施設計の協議を進めるとともに、プロジェクトによる検討体制を構築し、具体的な内容について研究と検討を進めます。									

1 事業概要

		課名	環境課	事業No.	139
事務事業名		環境衛生事業	会計	一般会計	
			事業区分	経常	実施区分 継続
			開始	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画				
	分野別計画				
	法令・例規等	○	動物の愛護及び管理に関する法律 化製場等に関する法律 公衆浴場の確保のための特別措置に関する法律		
事業目的	対象	生活環境（河川、周辺環境等）			
	意図	市民参加により良好に環境が保たれている			

2 事業内容

1年度 取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)				
	身近な環境を自分たちの手で改善する活動の一つとして、全市一斉に河川清掃を実施するよう呼びかけました。アメリカシロヒトリの食害から緑の環境を守るため、地区団体がアメリカシロヒトリの共同防除を行うに際し、希望により車両及び動力噴霧器の貸し出し並びに薬品の払出しを行いました。公共の場で死亡している動物（猫、タヌキ、ハクビシン等）を回収することで、道路等の衛生及び美観の維持に努めました。		水辺等美化活動事業（河川清掃事業）		2,694						
			アメリカシロヒトリ対策事業		386						
			死亡動物回収事業		1,979						
			公衆浴場設備改善事業		0						
		その他の経費		0							
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
	河川清掃参加人数	人	19,000	18,855	19,000	16,636	19,000	17,399			
	アメリカシロヒトリ防除車貸出件数(薬含む)	件	30	35	30	27	30	30			
	死亡動物回収件数	件	750	542	760	508	655	454			
	公衆浴場設備改善事業補助件数	件	1	1	0	1	0	0			
1年度 決算 (千円)	予算額	5,920	特定財源内訳及び補足事項								
	決算額	5,059									
	財源の 状況	国庫支出金	0								
		県支出金	0								
		地方債	0								
		その他	0								
一般財源	5,059										

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	4	1	4	11	1	5,920	5,059	環境衛生事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		1. 河川清掃の参加者の高齢化とそれに伴う事故が危惧され、地区内の担い手不足が心配です。2. アメリカシロヒトリ防除機材及び車両の老朽化による不具合が懸念されます。3. 死亡動物回収では、私有地も回収範囲と思っている市民が多い点が課題です。4. 公衆浴場利用者減少による公衆浴場経営悪化が懸念されます。							
上記の課題解決のための有効策		1. 危険性の低い作業に注力するように依頼します。2. 機材の定期的メンテナンスを行います。3. 私有地での死亡動物回収依頼受信の都度、私有地は回収しない旨を周知します。4. 公衆浴場の設備改善により、快適性が向上し利用者増加に繋がると考えています。							
次年度に向けての取り組み		1. 無理のない作業をして頂くよう引き続き各地区へ依頼し、河川管理者と協議を行います。2. 機材のメンテナンスを引き続き行います。一般市民が適用範囲となる民間保険へ継続加入します。3. 私有地での死亡動物回収依頼の都度、私有地は回収しない旨を通知します。4. 公衆浴場の設備改善により、快適度が向上し利用者確保ができるよう取り組みます。							

1 事業概要

		課名	環境モデル都市推進課	事業No.	142
事務事業名		会計	一般会計		
		事業区分	経常	実施区分	継続
		開始	H10	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画				
	分野別計画	○	飯田市環境基本計画（21' いいだ環境プラン）		
	法令・例規等		環境基本法 飯田市環境基本条例		
事業目的	対象	市民			
	意図	環境保全活動を継続的に展開する			

2 事業内容

1年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)				
	飯田市の環境政策を適正に推進していくため、有識者、市民などで構成する環境審議会を3回開催しました。環境レポート、環境プラン改訂等について委員から専門的な知見や市民の目線に立った意見をいただきました。 環境プラン第4次改訂計画に基づく施策の進捗状況について環境レポートを作成し、公表しました。 また、21'いいだ環境プラン第5次改訂計画の策定に着手しました。		環境審議会運営（報酬、旅費等）				191				
			環境レポート作成関連費用				135				
			事務用機器借上、消耗品等一般経費				2,247				
その他の経費				0							
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
	環境審議会に付議された事案数	件	2	2	5	3	3	3			
	環境審議会への参加者数	人	48	48	120	60	69	52			
1年度決算(千円)	予算額	3,010	特定財源内訳及び補足事項								
	決算額	2,573									
	財源の状況	国庫支出金	0								
		県支出金	0								
		地方債	0								
		その他	0								
一般財源	2,573										

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	4	1	5	10	1	3,010	2,573	環境保全一般経費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		市民が住み続けられる地域づくりをする視点に立って21' いいだ環境プラン第5次改訂版及び第3次飯田市環境モデル都市行動計画の策定に向けて、環境審議会と意見交換を行い骨子をまとめました。今後も令和2年度中の計画策定に向けて適切な情報提供を行い、意見を聴取していくことが必要です。							
上記の課題解決のための有効策		環境審議会に時節に応じた題材を付議し、議論を通して広く市民の環境問題への取組を促す機会とします。							
次年度に向けての取り組み		21' いいだ環境プラン第5次改訂版及び第3次飯田環境モデル都市行動計画の策定に取り組みます。また、21' いいだ環境プラン第4次改訂版の内容に沿って環境レポートの作成と公表をします。上記の事項に向けて意見を聴取するため、環境審議会を開催します。							

1 事業概要

		課名	環境課	事業No.	143
事務事業名		環境汚染対策事業	会計	一般会計	
			事業区分	政策	実施区分 継続
			開始	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画	○	10	豊かな自然と調和し、低炭素なくらしをおくる	
	分野別計画			飯田市環境基本計画（21' いいだ環境プラン）	
法令・例規等			環境基本法		
			騒音規制法		
			悪臭防止法		
事業目的	対象	市民の生活環境			
	意図	環境汚染が発生しない良好な生活環境の維持			

2 事業内容

1年度取組	取組内容	経費の内容	事業費(千円)
	<ul style="list-style-type: none"> ・簡易浄化槽の適正な管理のために啓発・指導に取り組みました。 ・市内の主要な河川・地下水（井戸水）の水質検査を実施し汚染状況を確認しました。 ・リニア中央新幹線工事に伴う地下水への影響を把握するため、関係地の地下水の水位等を調査しました。 ・自動車騒音、悪臭、その他の測定により実態を確認しました。 ・環境汚染の発生に対し、長野県をはじめ関係機関と連携して速やかで適切な対応に努めました。 	生活雑排水汚泥汚泥処理関連経費	1,209
河川水質保全関連経費		3,946	
地下水水質管理関連経費		1,874	
小規模水道管理費		98	
騒音・悪臭その他公害防止対策費		4,237	
その他の経費		0	

活動指標	指標名（数値で表せる活動量）	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
			生活雑排水汚泥汲取量	kl	280	108.5	280	88.5	220	118.2
河川のBODの目標の達成率	%	100	100	100	95.5	100	100			
市が斡旋する井戸水検査受検世帯数	世帯	200	183	200	227	200	156			
騒音の環境基準達成率	%	70	60	70	80	80	80			
悪臭の防止目標の達成率	%	100	100	100	100	100	100			
微小粒子状物質（PM2.5）の現状と動向	基準達成・未達成	達成	達成	達成	達成	達成	達成			

1年度決算(千円)	予算額		12,391	特定財源内訳及び補足事項					
	決算額		11,364						
	財源の状況	国庫支出金	0						
		県支出金	0						
		地方債	0						
		その他	0						
一般財源		11,364							

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事業	中 事業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	4	1	5	11	2	1,736	1,209	生活雑排水汚泥処理事業費
2	1	4	1	5	11	3	4,207	3,946	河川水質保全事業費
3	1	4	1	5	11	4	1,937	1,874	地下水水質管理事業費
4	1	4	1	5	11	5	144	98	小規模水道管理費
5	1	4	1	5	12	1	4,367	4,237	騒音・悪臭その他公害防止対策費
6									
7									

振り返り課題認識	<p>①公害問題は減少傾向にありますが、平成30年の市内製造業の有害物質地下漏洩など、影響の強い事故に迅速に対応できる体制づくりが必要です。</p> <p>②リニア工事による環境影響調査のために、工事が本格化する前に河川・地下水などの現状調査を行っておく必要があります。</p>
上記の課題解決のための有効策	<p>①まず、日々の公害苦情に、迅速に真摯に対応することが事故対応の基本となります。さらに大事故を想定したマニュアル作りを行い、そのシミュレーションを行います。</p> <p>②リニア工事影響区域での定点観測を業務委託によって確実にいきます。</p>
次年度に向けての取り組み	<p>①公害苦情に対する迅速な対応と、原因発生者への適切な指導により再発を防ぎます。</p> <p>②リニア工事本格化に伴い、水に加え、大気や騒音の影響調査を進めます。</p>

1 事業概要

		課名	環境課	事業No.	144
事務事業名		会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
		開始		終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画	○	10	豊かな自然と調和し、低炭素なくらしをおくる	
	分野別計画			飯田市環境基本計画（21' いいだ環境プラン）	
法令・例規等			環境基本法		
			環境基本条例		
			環境保全条例		
事業目的	対象	飯田市の自然環境			
	意図	飯田市の自然環境の保全			

2 事業内容

1年度 取組	取組内容			経費の内容				事業費(千円)			
	<ul style="list-style-type: none"> ・南アルプスユネスコエコパーク（南アルプス自然環境保全活用連携協議会(3県10市町村)）活動に取り組みました。 ・ジオガイド養成講座の実施など南アルプス（中央構造線エリア）ジオパーク（同協議会（長野県4市町村））活動に取り組みました。 ・ユネスコエコパーク登録5周年、日本ジオパーク登録10周年を向かえ、記念となる事業を実施しました。 ・企画課とともにエコパーク、ジオパーク主題の高校生・大学生を対象としたフィールドスタディに取り組みました。 ・庁内におけるエコパーク・ジオパークの事業の調整を行うため、担当者会議を開催しました。 			自然環境保全事業費				948			
				その他の経費				0			
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
	南アルプス遠山郷を訪れた人数	千人	200	210	200	151	200	113			
	市内希少動植物保全団体数を把握	団体	10	9	10	9	10	9			
	動植物調査報告件数	件	460	422	460	389	460	323			
	自然環境保全啓発活動	回	5	6	5	7	5	7			
1年度 決算 (千円)	予算額	1,055	特定財源内訳及び補足事項								
	決算額	948									
	財源の 状況	国庫支出金	0								
		県支出金	0								
		地方債	0								
		その他	0								
一般財源	948										

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	4	1	5	13	2	1,055	948	自然環境保全事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		南アルプスエコパーク・ジオパークについてはあまり市民に浸透しているといいたため、周知を図り、現在加入している連携組織との活動に積極的に取り組み、交流人口の増加を図ります。							
上記の課題解決のための有効策		南アルプス自然環境保全活用連携協議会や南アルプスジオパーク協議会の活動を通じて関係市町村に情報発信を行います。							
次年度に向けての取り組み		遠山地区民や南信州観光公社等と連携し、エコパーク・ジオパークを活用した実践を進めます。ジオガイドの実践の場を設けるように努めます。							

1 事業概要

		課名	環境課	事業No.	145
事務事業名		環境教育推進事業	会計	一般会計	
			事業区分	政策	実施区分
			開始	終了	継続
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画	○	10	豊かな自然と調和し、低炭素なくらしをおくる	
	分野別計画			飯田市環境基本計画（21' いいだ環境プラン）	
法令・例規等			環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律		
事業目的	対象	市民			
	意図	環境保全について理解を深め、環境保全活動を行う意欲の増進			

2 事業内容

1年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)				
	<ul style="list-style-type: none"> ・より広い環境意識の高まりと、人材の育成のため、環境教育のプログラムを整備しました。 ・環境アドバイザーや環境チェッカーを対象に講演会や研修会などの学習機会を設けました。 ・自然観察会を行い、自然とのふれあいの場を設けました。 ・市内外の学校や地域団体を対象に、環境産業公園やグリーンバレー千代の視察を通じて、環境保全への意識の高揚を図りました。 ・市内小学校4年生を対象に、自然環境保全ポスターの作製を通じて環境保全への意識の高揚を図りました。同様に、ごみの分別についての社会科副読本を作成し配布しました。 		環境教育推進関連事業				1,194				
			その他の経費				0				
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
	自然と触れ合いを持ったことがある市民の割合	%	40	63.2	40	57.8	40	57.5			
	自然観察会への参加人数	人	50	10	50	8	50	15			
	環境学習会（講演会、研修会）への参加人数	人	100	456	100	68	100	45			
	環境産業公園、グリーンバレー千代の見学人数	人	1,000	1,178	1,000	637	1,000	597			
	自然環境保全ポスターの応募人数	人	650	517	650	587	650	489			
1年度決算(千円)	予算額	1,801	特定財源内訳及び補正事項								
	決算額	1,194									
	財源の状況	国庫支出金	0								
		県支出金	0								
		地方債	0								
		その他	0								
一般財源	1,194										

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	4	1	5	15	2	1,801	1,194	環境教育推進事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識	環境について興味関心が高い人々だけではなく、多くの人に受け入れられる「環境を学ぶ場」の用意が必要であり、環境学習プログラムの整備を行いました。今後はこれを活かす講座等の開催やその他学びの場の設定を関係各所との協力の上で進める必要があります。								
上記の課題解決のための有効策	公民館・学校等、様々な関連団体と協力し、環境教育プログラムを活用した学びの場を設けます。								
次年度に向けての取り組み	整備したプログラムを有効に活用してもらえよう、講座等の開催方法や、学校教育への組み込みについて検討し、学校や地域に環境学習への取り組みを働きかけます。								

1 事業概要

		課名	環境モデル都市推進課	事業No.	146	
		会計	一般会計			
		事業区分	政策	実施区分	継続	
		開始	H9	終了		
事務事業名		ISO14001 推進事業				
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称		
	戦略計画	○	10	豊かな自然と調和し、低炭素なくらしをおくる		
	分野別計画		飯田市環境基本計画（21' いいだ環境プラン）			
			改訂第2次飯田市環境モデル都市行動計画			
		飯田市役所地球温暖化防止実行計画				
法令・例規等		地球温暖化対策の推進に関する法律				
		長野県地球温暖化対策条例				
事業目的		対象	南信州地域の事業所、教育機関			
		意図	事業所は、ISO14001「南信州いいむす21」などの環境マネジメントシステムに、教育機関は、教育に特化した地域独自の環境マネジメントシステムに取り組む。			

2 事業内容

1年度取組	取組内容			経費の内容				事業費(千円)				
	<p>庁内のISO推進では、業務に即したISOの運用をさらに進めるために、教育訓練の内容等の工夫に努めました。さらには、教育訓練に合わせた「飯田市役所地球温暖化防止実行計画」の進捗状況や今後の到達点などを共有し、各部署の環境負荷への見直しにつなげることができました。</p> <p>地域ぐるみ環境ISO研究会では、長野県環境保全協会と共催で「環境法令勉強会」を開催し、多くの事業所が理解を深めることができました。</p> <p>「保育園いいむす21」では、これからは外部評価も必要との判断から、ひまわり含む17園すべてが「南信州いいむす21」へ移行しました。</p>			ISO14001推進				345				
				その他の経費				0				
	活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)		単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績		
南信州いいむす21訪問支援事業所数		件	40	26	—	—	—	—				
南信州いいむす21登録・継続審査事業所数		件	10	20	10	17	10	28				
「CO2削減一斉行動週間」の実施		人	2	3	3	3	3	2				
ISO推進に係る外部研修派遣		人	10	8	10	12	10	7				
相互内部監査員数		人	60	84	60	135	60	125				
環境マネジメントシステム審査員補資格取得		人			1	1	—	—				
1年度決算(千円)	予算額		362	特定財源内訳及び補足事項								
	決算額		345									
	財源の状況	国庫支出金		0								
		県支出金		0								
		地方債		0								
		その他		0								
一般財源		345										

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	4	1	5	16	1	362	345	環境マネジメントシステム普及事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		<p>「南信州いいむす21」の取組は、主に町村に対して説明を行い、4町村(高森町、阿南町、泰阜村、根羽村)から新規登録に向けた審査の申し出がありました。ほかの町村でも2村(天龍村、売木村)で説明を行い、取組の検討が始まっています。環境マネジメントシステム以外でも、平成30年度は1回あたり56事業所であった「環境一斉行動週間」は、令和元年度は74事業所となっており、着実に取組の数を増やしつつあります。</p>							
上記の課題解決のための有効策		<p>町村での取組みから民間事業所への普及となるよう、省エネの推進と「南信州いいむす21」の取組みを融合させながら、実質的な利益につながる取組をわかりやすく構築して普及していくため、地域ぐるみ環境ISO研究会と協議していきます。「環境一斉行動週間」では、新規に取り組む事業所への呼びかけを行い、取組みの輪を広げていきます。</p>							
次年度に向けての取組み		<p>「南信州いいむす21」についての今後の運用について、地域ぐるみ環境ISO研究会にて検討を行い、将来的な方向性について定めていきます。その際、SDGsや地域循環共生圏への取組も視野に入れていきます。「環境一斉行動週間」では、引き続き多くの事業所への参加の呼びかけを行い、意識の向上を図り、実質的な行動につながるよう呼びかけます。</p>							

1 事業概要

		課名	環境モデル都市推進課	事業No.	147
事務事業名		会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
		開始	H21	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画	○	10	豊かな自然と調和し、低炭素なくらしをおくる	
	分野別計画			飯田市環境基本計画（21' いいだ環境プラン）	
				第2次飯田市環境モデル都市行動計画改訂計画	
法令・例規等			飯田市環境基本条例		
			飯田市再生可能エネルギーの導入による持続可能な地域づくりに関する条例		
事業目的	対象	市民・事業者			
	意図	市民（地域団体）が、持続可能な地域づくりと温室効果ガスの削減のため、住民主体の再生可能エネルギー活用事業に取り組む			

2 事業内容

1年度 取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)				
	（通称）地域環境権条例に基づいて飯田市再生可能エネルギー導入審査会を開催し、その審査を経て再生エネルギー事業によって地域課題を解決しようとする地域団体の支援を行いました。 中部環境先進5市会議、環境首都創造フォーラム、環境自治体会議、イクレイ（持続可能性を目指す自治体協議会）等へ参加し、また、環境政策の専用ホームページからの発信等により、環境モデル都市として先進的取組の水平展開を行いました。 気候変動適応について、長野県と情報交換等の連携により推進していくことを確認しました。		飯田市再生可能エネ導入支援審査会運営					434			
			国、県との環境エネルギー政策意見交換・情報収集					265			
			環境先進自治体等を通じた情報発信・ネットワーク構築					698			
			気候変動適応策検討					4			
					その他の経費				0		
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
	再エネ導入支援審査会での指導・助言	回	10	2	10	4	8	4			
	環境先進自治体等との協議回数	回	12	3	12	2	16	3			
1年度 決算 (千円)	予算額	2,392	特定財源内訳及び補足事項								
	決算額	1,401									
	財源の 状況	国庫支出金	0								
		県支出金	0								
		地方債	0								
		その他	0								
一般財源	1,401										

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	4	1	5	19	1	2,392	1,401	環境モデル都市行動計画進行管理事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		地域環境権条例に基づき、5件の事業支援決定を行いました。いずれも太陽光発電による事業です。今後はFIT（固定価格買取制度）における買取価格が低下することから、太陽光発電事業による従前と同じような事業展開が困難となっていくことが予想されます。							
上記の課題解決のための有効策		買取価格の低下の少ない水力及び木質バイオマスを活用した発電事業の実施の支援又はFIT制度に頼らない太陽光発電による事業の推進が有効です。							
次年度に向けての取り組み		当面は未だFITにおける有利な買取価格を生かした事業が見込まれるので、それについての支援を行う一方、水力又は木質バイオマスを活用した事業の支援及びFITに頼らない事業実施について可能性を模索していきます。							

1 事業概要

		課名	環境モデル都市推進課	事業No.	148
事務事業名		会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
		開始	H9	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画	○	10	豊かな自然と調和し、低炭素なくらしをおくる	
	分野別計画			飯田市環境基本計画（21' いいだ環境プラン）	
				第2次飯田市環境モデル都市行動計画	
法令・例規等			飯田市環境基本条例		
事業目的	対象	市民			
	意図	太陽光エネルギーを発電や熱として利用することで化石燃料使用の削減と省エネ意識の高揚を図り、温室効果ガス排出量を削減する。			

2 事業内容

1年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)			
		地球温暖化防止のための温室効果ガスの削減に向けた取組として、太陽光発電設備145件、蓄電システム78件（うち太陽光発電設備と蓄電システムの同時設置13件）、太陽熱温水器18件の設置に対する補助を行いました。 地域の民間事業者との公民協働による太陽光発電事業を推進し、環境意識の向上を図りました。 メガソーラーいいだの適切な管理とPRにより太陽光発電の普及啓発を図りました。	太陽光発電設備・蓄電システム設置補助					19,394		
		太陽熱温水器設置補助					540			
		太陽光市民共同発電グリーン電力使用料					9,387			
		メガソーラーいいだ運転補助、PR施設管理他					2,315			
		その他の経費					0			
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	太陽光発電設備設置補助対象の設置容量	kW	1,334	1,550	1,334	1,621	1,080	1,186		
	蓄電システム設置補助交付件数	件	40	22	40	30	40	78		
	太陽熱温水器設置補助交付件数	件	40	21	40	24	40	18		
	メガソーラーいいだ維持管理出勤回数	回	15	21	15	16	15	15		
1年度決算(千円)	予算額		33,485		特定財源内訳及び補正事項					
	決算額		31,636		(そ) 市民共同発電売電収入					
	財源の状況	国庫支出金	0							
		県支出金	0							
		地方債	0							
		その他	4,070							
一般財源		27,566								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	4	1	5	19	3	33,485	31,636	おひさまのエネルギー利用推進事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		年度を通じた補助金交付件数は、太陽光発電設備145件、蓄電システム78件（うち太陽光発電設備との同時設置13件）、太陽熱温水器18件となり、特に蓄電システムは計画の約2倍となりました。温室効果ガスの削減に向けてさらなる太陽光発電設備の普及を図る必要があります。固定価格での電力買取制度が順次終了することに伴い、市民の太陽光発電設備の設置意欲にブレーキがかからないよう蓄電システムの普及にも注力するため、補助制度の変更を行う必要があります。							
上記の課題解決のための有効策		第2次飯田市環境モデル都市行動計画改訂版が目標として定める2050年の温室効果ガス削減の長期目標に向けて、太陽光発電設備は依然として設置が必要であり、今後は設置件数に加えて設置容量にも力点を置いて支援を行います。エネルギーの域産域消を進めて地域内経済循環を行う必要からも、蓄電システムの普及に注力します。							
次年度に向けての取り組み		太陽光発電設備と蓄電システムの設置の拡大に向けて、太陽光発電設備の設置容量増加と蓄電システムの導入数の増加を図るための補助制度の運用変更を検討します。							

1 事業概要

		課名	環境モデル都市推進課	事業No.	149
事務事業名		会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
		開始	H23	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画	○	10	豊かな自然と調和し、低炭素なくらしをおくる	
	分野別計画			飯田市環境基本計画（21' いいだ環境プラン）	
			第2次飯田市環境モデル都市行動計画		
法令・例規等			飯田市環境基本条例		
事業目的	対象	市民、事業者			
	意図	地域内に賦存する木質バイオマス資源を活用し温室効果ガスの削減を図る			

2 事業内容

1年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)		
	公共施設への木質バイオマス活用機器の導入として、市内の学校へ13台、保育園へ3台の計16台を導入しました。 民間向け木質バイオマス活用機器設置への助成金は、ペレットストーブ2台、薪ストーブ（ボイラー）11台の計13台へ交付を行いました。 森林吸収源を活かした地域間交流の推進として、渋谷区と交流を行い、秋の開催時期に台風19号の影響もあり変則的に2月開催となりましたが、5月に70名、2月に72名の計142名の参加がありました。		木質バイオマス機器導入推進					9,220	
			渋谷区とのみどりの環交流					200	
			ペレットストーブ運用にかかる費用					64	
			公共施設ペレットストーブ利用推進における一斉点検					2,933	
その他の経費						0			
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度		
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	
	木質バイオマス機器の新規導入	件	38	30	38	31	42	29	
	渋谷区とのみどりの環交流参加人数	人	160	160	160	72	100	180	
1年度決算(千円)	予算額	14,322	特定財源内訳及び補正事項						
	決算額	12,417	(国) 二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金（2/3）						
	財源の状況	国庫支出金	5,793	(県) 木質バイオマス循環利用普及促進事業補助金（3/4）					
		県支出金	150	(そ) ふるさと寄附金					
		地方債	0						
		その他	6,000						
一般財源	474								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大	中	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
					事業	事業			
1	1	4	1	5	19	4	14,322	12,417	もりのエネルギー利用推進事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		公共施設へ初期に導入してきた機種の一部品供給の中止などの情勢の変化から、新規機種への更新について導入単価の上昇等の要因を考慮した柔軟な導入計画の策定が必要となってきています。また、民間向け木質バイオマス活用機器設置の普及については、啓発などに工夫した取り組みが必要です。森林の価値を共有する地域間交流については、地域そのものの魅力を発信する新たな地域資源を掘り起こし、交流の拡大を目指して取り組む必要があります。							
上記の課題解決のための有効策		公共施設へのペレットストーブの導入は、適切な配置とメンテナンスを行うことで政策効果を最大限発揮できるように取り組めます。また、民間向け木質バイオマス活用機器設置の助成金の交付については、利用促進を図るために啓発などを工夫した取り組みを行っていきます。							
次年度に向けての取り組み		16年が経過した公共施設ペレットストーブ機器については、優先度を判断しながら、政策効果を発揮できるようメンテナンスと既存機器の更新を中心に取り組みを進めます。民間向けペレットストーブの助成金の交付については、利用促進の広報に工夫を図り実施します。渋谷区との交流事業は都市部への飯田の魅力発信機会として取り組めます。							

1 事業概要

事務事業名		新エネルギー推進リーディング事業		課名	環境モデル都市推進課	事業No.	150
				会計	一般会計		
				事業区分	政策	実施区分	継続
				開始	H21	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称			
	戦略計画	○	10	豊かな自然と調和し、低炭素なくらしをおくる			
			12	リニア時代を支える都市基盤を整備する			
	分野別計画	飯田市環境基本計画（21' いいだ環境プラン）					
		第2次飯田市環境モデル都市行動計画					
法令・例規等	飯田市環境基本条例						
事業目的		対象	市民、事業者				
		意図	市民、事業者が小水力発電事業を推進し、売電収益を活用した持続可能な地域づくりを実施します。また、リニア時代にふさわしい低炭素な社会づくりを推進します。				

2 事業内容

1年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)				
	1 小沢川小水力発電事業について、国が計画する小沢川新砂防堰堤築造工事計画との事業検証及び調整を行い、事業に同調することでかみむら小水力(株) (地域) に多大なメリットが生じることが分かったため、事業工程を国に合わせ進めることとしました。また、それに伴い、今までの設計成果を基に詳細設計変更に着手しました。併せて、事業スケジュールを見直しました。		小沢川小水力発電事業化支援				2,570				
	2 リニア駅周辺整備に合わせた具体的なエネルギーマネジメントのコンセプトやそれを実現するシステムの組立を構築し、リニア駅周辺整備基本設計を昨年12月に策定しました。		リニア駅周辺低炭素街区検討				39				
			その他の経費				0				
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
	かみむら小水力(株)経営会議への参画	回	48	48	12	13	12	12			
	リニア駅周辺エネルギー自立可能性調査実施	回	1	1	-	-	-	-			
	リニア駅周辺整備検討回数	回	5	6	5	15	5	5			
	新たな小水力発電事業の検討	回	1	1	1	1	1	1			
1年度決算(千円)	予算額	2,684	特定財源内訳及び補足事項								
	決算額	2,609	(そ) ふるさと寄附金								
	財源の状況	国庫支出金	0								
		県支出金	0								
		地方債	0								
		その他	1,452								
	一般財源	1,157									

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	4	1	5	19	5	2,684	2,609	新エネルギー推進リーディング事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		小沢川小水力発電事業は、国の事業と引き続き連携を図りながら詳細設計の早期完成のための支援を行う必要があります。また、関係機関との許認可取得の調整を図り、事業推進を図る必要があります。リニア駅周辺低炭素街区の構築について、実施設計で低炭素エリア構築に向けた具体化の検討を進めます。							
上記の課題解決のための有効策		小沢川小水力発電事業は、国と連携を密にしながら、事業化に向けてかみむら小水力(株)が行う詳細設計及び許認可協議が推進するための支援を行います。リニア駅周辺低炭素街区の構築について、実施設計の中で整備・運営主体も見据えた検討を進めていきます。							
次年度に向けての取り組み		小沢川小水力発電事業は、今後は、国県等関係機関の各種許認可を取得し、令和3年度中に固定価格買取制度に基づく単価取得を行い、発電所建設工事に着手できるよう、市としても継続して支援していきます。リニア駅を中心に低炭素エリア構築に向けたエネルギーマネジメントの具体化を検討します。							

1 事業概要

		課名	環境モデル都市推進課	事業No.	151
事務事業名		会計	一般会計		
		事業区分	経常	実施区分	継続
		開始	H21	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画	○	10	豊かな自然と調和し、低炭素なくらしをおくる	
	分野別計画			飯田市環境基本計画（21' いいだ環境プラン）	
				第2次飯田市環境モデル都市行動計画	
法令・例規等			飯田市環境基本条例		
事業目的	対象	市民、事業所、行政			
	意図	低炭素な移動手段への転換を推進する取組として、自転車の活用及びノーマイカー通勤、公共交通の利用を推奨し、温室効果ガス排出量を削減する			

2 事業内容

1年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)				
	低炭素な交通手段への転換を推進するため、市民の自転車利用促進を目的とした自転車市民共同利用システムを運営しました。 また、電気自動車による低炭素車両の運行実証を継続しました。 「地域ぐるみ環境ISO研究会」が地球温暖化防止に向けて取り組んでいるノーマイカー一斉行動を支援し、事業所・市民・行政が一体となり、地域ぐるみで温室効果ガスの削減への取組を行いました。		自転車市民共同利用システム運営		2,505						
			低炭素車両の維持管理		173						
					その他の経費		0				
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
	自転車市民共同利用システム走行距離	km	97,892	90,592	97,892	88,434	77,248	77,922			
	自転車普及啓発イベント実施回数	回	1	1	2	2	2	1			
	ノーマイカー通勤一斉行動参加者数	人	10,000	20,628	10,000	18,279	12,000	11,310			
1年度決算(千円)	予算額	2,684	特定財源内訳及び補足事項								
	決算額	2,678	(そ) レンタサイクル使用料								
	財源の状況	国庫支出金	0								
		県支出金	0								
		地方債	0								
		その他	236								
一般財源	2,442										

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	4	1	5	19	6	2,684	2,678	環境にやさしい交通社会形成事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		事業開始から11年を迎えた自転車市民共同利用システムについては、経年劣化又は故障を抱えた車体の選別を行って安全性の確保を行いつつ、新たなあり方を検討する必要があります。 環境にやさしい交通として電気事業者、バス事業者との連携によりEVバス運行の実証実験を行うこととしました。							
上記の課題解決のための有効策		自転車の利用率の把握と利用状況の分析を行い、自転車市民共同利用事業に基づく走行距離を把握した上で、交通分野の低炭素化促進として自転車の利用環境を整備する計画の策定に向けた準備を進めます。 EVバス運行の実証実験から再エネ利用や充電システムを含むエネルギーマネジメントのあり方を研究していきます。							
次年度に向けての取り組み		第2次飯田市環境モデル都市行動計画改訂版が目指す2050年の長期目標に向けて、交通分野の低炭素化促進として、自転車利用促進計画や移動手段とエネルギーマネジメントの具体化を検討します。							

1 事業概要

		課名	環境モデル都市推進課	事業No.	152
事務事業名		会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
		開始	H27	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画	○	10	豊かな自然と調和し、低炭素なくらしをおくる	
			12	リニア時代を支える都市基盤を整備する	
	分野別計画			飯田市環境基本計画（21' いいだ環境プラン）	
				第2次飯田市環境モデル都市行動計画	
法令・例規等			都市の低炭素化の促進に関する法律（エコまち法）		
			長野県地球温暖化防止条例		
			飯田市環境基本条例		
事業目的	対象	市民、事業者			
	意図	地域の産業界を中心に、地域の気候風土を活かした省エネルギー住宅の飯田独自仕様の構築と流通を含めた仕組みづくりを行う。また、省エネルギー住宅改修への支援制度の構築を目指す。			

2 事業内容

1年度 取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)				
	日本都市計画学会と地元若手建築士が参画する低炭素都市づくり自治体支援プログラムにおいて、温室効果ガスの削減と地域経済の循環のモデル構築に資する飯田市版ZEH仕様の構築に向けて、民間事業者を含めた協議会を立ち上げることとなりました。また、自治体独自のエネルギーマネジメント方針を構築して行くため、市内エネルギー消費実態調査を実施しました。建設部では、地元建築士へ新築物件に対する建物性能調査を実施し、市内における建築物の実態を把握することができました。 市内企業への省エネルギーの取組に繋がる意識啓発のため、6月に省エネルギーセミナーを開催しました。		企業省エネの啓発					193			
			エネルギー消費実態調査					10,832			
									0		
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成29年度 実績	平成30年度 計画	平成30年度 実績	令和元年度 計画	令和元年度 実績	令和2年度 計画	令和2年度 実績	
	ZEB/ZEH研究会・普及活動の実施回数	回	6	12	6	9	6	17			
	企業省エネの意識啓発セミナー	回					1	1			
	市内エネルギー消費実態調査	回					1	1			
1年度 決算 (千円)	予算額	11,360	特定財源内訳及び補正事項								
	決算額	11,025	(国) 二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金 (10/10) ※上限、10,000千円								
	財源の 状況	国庫支出金	10,000								
		県支出金	0								
		地方債	0								
		その他	0								
一般財源	1,025										

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	4	1	5	19	7	11,360	11,025	省エネルギー推進事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		飯田市版ZEH仕様書の方向性を確認し、省エネ住宅の普及や地域産材の流通の仕組みづくりが重要であるとの認識もされ検討を進めてきましたが、今後は飯田市版ZEH仕様の構築と地域産材の流通の仕組みづくりの早期構築が必要です。また地元建築士を含めた地域内産業の関係者との協議の場づくりが必要です。市内エネルギー消費実態調査では、把握した調査結果を基に市民との情報共有と新たなプランづくりの基礎資料とすることが必要です。							
上記の課題解決のための有効策		ZEHへの理解を深めていただくために、有識者を招いて講演会開催などを行い周知していく必要があります。また、リニア駅周辺整備に伴い、低炭素化に向けて魅力発信施設のZEH仕様での建築の具体的な方法を検討する必要があります。							
次年度に向けての取り組み		協議会をもとに産業界などと協議を重ね飯田版ZEH仕様の素案を策定します。市内エネルギー消費実態調査の結果を各種計画の基礎資料として活用します。また、省エネセミナーを引き続き開催し、行動に結びつくよう継続的に支援できる体制を検討します。							

1 事業概要

		課名	環境モデル都市推進課	事業No.	153
事務事業名		会計	一般会計		
		事業区分	経常	実施区分	継続
		開始	H21	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画	○	10	豊かな自然と調和し、低炭素なくらしをおくる	
		飯田市環境基本計画（21' いいだ環境プラン）			
	分野別計画	第2次飯田市環境モデル都市行動計画			
飯田市環境基本条例					
法令・例規等					
事業目的		対象	市民、市民団体		
		意図	エコライフの実践、住宅の省エネルギー化を図る。環境人材教育とコミュニティ活動を展開する。市民団体が脱炭素社会の推進に関連した活動に主体的に取り組む。		

2 事業内容

1年度取組	取組内容	経費の内容	事業費(千円)
	<p>日常生活における低炭素活動の普及を図るため、りんご並木のエコハウスを運営し、エコカフェ事業、エコライフコーディネーターによる啓発事業などを行いました。</p> <p>旧飯田測候所を適切に管理し、環境教育の拠点となる事業及び地域と協働したコミュニティ活動を創出するよう指定管理者とともに運営しました。</p> <p>また、飯田脱炭素社会推進協会の運営及び支援を行いました。</p>	市民向けイベントのコーディネーター経費	90
エコハウスの管理運営		3,226	
飯田脱炭素社会推進協議会への補助		10	
旧飯田測候所の運営		5,072	
施設管理用消耗品		5	
その他の経費		0	

活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	エコハウス来場者数	人	10,000	6,060	10,000	5,234	6,000	4,221		
	エコハウスにおける講座実施回数	回	60	63	60	63	60	54		
	エコハウスにおける講座参加者数	人	700	939	700	852	800	702		
	エコライフ情報発信回数	回	12	12	12	12	12	12		
	旧飯田測候所来場者数	人	2,000	2,538	2,000	1,312	2,000	2,917		
	施設を活用した環境学習事業等の回数	回	12	34	12	12	24	31		

1年度決算(千円)	予算額	8,556	特定財源内訳及び補正事項							
	財源の状況	決算額	8,403	(そ) 旧飯田測候所建物使用料 960千円						
国庫支出金		0	(そ) 旧飯田測候所土地使用料 6千円							
県支出金		0	(そ) ふるさと寄附金 4,137千円							
地方債		0								
その他		5,103								
	一般財源	3,300								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	4	1	5	19	9	8,556	8,403	エコライフ啓発普及事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		<p>・エコハウスの来場者が減少傾向にありますが、省エネ住宅の普及状況などから、今後は来場者数ばかりではなく指定管理者と連携して生活者視点でエコライフを呼びかける質的向上を追求する取組が必要です。</p> <p>・旧飯田測候所は、環境人材の育成の場となるような環境学習の機会を創出し、環境に対する市民の意識を向上させる必要があります。また、施設の老朽化により修繕を必要とする箇所があり、来場者の安全性を確保する必要があります。</p>							
上記の課題解決のための有効策		<p>・指定管理者との協働によりエコハウスでの実施事業の内容と情報発信を充実させ、来場者の増加に繋がります。</p> <p>・旧飯田測候所において、指定管理者が実施している環境学習の機会と内容を充実させ、地元コミュニティ活動との両立を目指します。また、来場者が安全に利用できるよう対策を実施します。</p>							
次年度に向けての取り組み		<p>・指定管理者と連携し、設置目的である環境活動の拠点とにぎわいの場となるよう、エコハウスの活用方法を検討します。</p> <p>・旧飯田測候所において、飯田自然エネルギー大学のほか、環境人材育成の契機となる講座などの開催を指定管理者とともに検討します。</p>							

1 事業概要

課名		環境課	事業No.	154
会計		一般会計		
事業区分		政策	実施区分	継続
開始			終了	
事務事業名	3 R 推進事業			
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画			飯田市環境基本計画（21' いいだ環境プラン）
				飯田市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画
				飯田市分別収集計画
法令・例規等			○ 廃棄物の処理及び清掃に関する法律	
			循環型社会形成推進基本法 容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律	
事業目的	対象	市民		
	意図	リデュース（発生抑制）、リユース（再使用）、リサイクル（再生利用）の推進		

2 事業内容

1年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)				
		前年度末に制作し全戸配布を行った「ごみ出しガイドブック」が好評で、市民課窓口、各自治振興センターにおいて当初在庫していた予備分が払底し、本年度中計2,000部の増刷を行って対応しました。3 Rの周知浸透に効果が期待されます。稲葉クリーンセンターから発生する焼却灰のリサイクル処理を令和元年12月から開始しました。最終処分場の延命と環境負荷の低減に大きく寄与します。新たな情報ツールとして、スマートフォンを用いた「ごみ分別アプリ」の試験運用を開始しました。次年度当初から周知を拡大し、広くご利用いただきます。	3 R周知啓発関連経費					3,761			
		ごみ処理費用負担制度関連経費					18,197				
		焼却灰リサイクル事業費					24,693				
		資源回収事業補助金					2,199				
		容器包装リサイクル回収業務関係経費					48,071				
		リサイクルステーション管理事業経費					2,816				
		生ごみ処理機器購入費補助金関連経費					663				
		その他の経費					0				
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
	市民一人あたりが1日に排出するごみの量	g	534	535	524	549	514	560			
	ごみ収集方法の周知世帯数	世帯	39,711	39,711	39,735	39,735	39,896	39,896			
	資源ごみ（プラ）収集運搬日数	日	24	24	24	24	48	48			
	資源ごみ（金属）収集運搬日数	日	24	24	24	24	24	24			
1年度決算(千円)	予算額	105,105	特定財源内訳及び補足事項								
	決算額	100,400	(そ) 古鉄売却代 4,900千円								
	財源の状況	国庫支出金	0	(そ) 古紙売却代 12,780千円							
		県支出金	0	(そ) ガラスびん売却代 34千円							
		地方債	0	(そ) ペットボトル再商品化還元金 2,588千円							
		その他	75,881	(そ) ごみ処理手数料 55,579千円							
一般財源	24,519										

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	4	2	1	10	1	49,706	48,850	ごみ減量対策費
2	1	4	2	1	10	2	51,355	50,887	容器包装リサイクル事業費
3	1	4	2	1	10	3	4,044	663	生ごみ処理機器購入費補助事業費
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		稲葉クリーンセンターに搬入される燃やすごみの増加傾向は続いています。含まれている「紙類」と「プラスチック製容器包装」を資源として分別していただくよう、市民の皆さんの取り組みを進めていただく必要があります。							
上記の課題解決のための有効策		市民一人ひとりの分別への取り組みを高めていただくため、啓発を更に強化する必要があります。							
次年度に向けての取り組み		ごみ分別アプリの運用を開始し、幅広いライフスタイルに対応した3 R啓発を進めます。また、広報いいだに特集記事を組み、同内容の映像コンテンツを制作してCATVで放送、さらにDVD化してそれぞれの地区でご活用いただくよう準備を進めます。							

1 事業概要

		課名	環境課	事業No.	155
事務事業名		地域環境美化推進事業	会計	一般会計	
			事業区分	政策	実施区分
			開始		終了
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画	○	10	豊かな自然と調和し、低炭素なくらしをおくる	
	分野別計画		飯田市環境基本計画（21' いいだ環境プラン）		
			飯田市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画		
		飯田市分別収集計画			
法令・例規等		廃棄物の処理及び清掃に関する法律			
		廃棄物の処理及び清掃に関する条例			
		飯田市ポイ捨て等防止及び環境美化を推進する市民条例			
事業目的	対象	一般廃棄物			
	意図	不法投棄とポイ捨て等の防止			

2 事業内容

1年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)				
	<ul style="list-style-type: none"> 環境美化指導員を配置し毎日パトロールを行いました。 各地区に不法投棄パトロール員を委嘱し巡視いただきました。 各地区に環境美化推進補助金を交付しました。 毎月市職員と環境美化指導員による夜間パトロールを実施し、重点地域の巡視活動と抑止活動を行いました。 春のごみゼロ運動は5月26日を中心に、秋のごみゼロは11月10日を中心に全市各地区ごと実施しました。のべ31,514人御参加いただきました。 不法投棄の行為者について本年度17件特定に至りました。 		環境美化活動支援経費			98					
			地域環境美化推進事業補助金			3,478					
			不法投棄パトロール関連経費			2,039					
			不法投棄・ポイ捨て等防止関連経費			5,186					
			その他の経費		0						
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
	環境美化活動に取り組んだ市民等の割合	%	30	30.7	30	31.2	30	31.1			
	不法投棄パトロール実施日数	日	480	467	480	458	480	452			
1年度決算(千円)	予算額	12,446	特定財源内訳及び補正事項								
	決算額	10,801	(そ) ごみ処理手数料								
	財源の状況	国庫支出金	0								
		県支出金	0								
		地方債	0								
		その他	4,560								
	一般財源	6,241									

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	4	2	1	11	1	4,599	3,576	環境美化推進費
2	1	4	2	1	11	2	7,847	7,225	不法投棄対策事業費
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		不法投棄の近況として、一般市民のモラル欠如によるものは、減少してきている印象があります。しかし一方で異常な性向を持った特定の個人が、反復して犯行を繰り返す事案が見受けられます。							
上記の課題解決のための有効策		反復して犯行を繰り返すことから、対象者を絞り込み、特定して指導を行う必要があります。							
次年度に向けての取り組み		地区の不法投棄パトロール員とともに、引き続き市内で発生する事案を注視していきます。							

1 事業概要

		課名	環境課	事業No.	156
事務事業名		会計	一般会計		
		事業区分	経常	実施区分	継続
		開始		終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画				
		飯田市環境基本計画（21' いいだ環境プラン）			
		飯田市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画			
	分野別計画	飯田市分別収集計画			
○ 廃棄物の処理及び清掃に関する法律					
法令・例規等	循環型社会形成推進基本法				
	特定家庭用機器再商品化法				
事業目的	対象	一般廃棄物			
	意図	着実な収集運搬及び適正な処理			

2 事業内容

1年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)				
	・ごみ集積所、リサイクルステーションを設置し、廃棄物、資源物の効率的な回収を行っています。 ・ごみの収集運搬は全て業者に委託していますが、連絡は密に行い、課題に対し迅速な対応ができる体制としています。 ・次年度のごみリサイクルカレンダーについて年度内に各家庭に行き渡るよう印刷、配布しています。 ・稲葉クリーンセンター、最終処分場、それぞれの施設とも情報を共有し、適正処理に努めています。 ・本年度は事業者向けの廃棄物処理に関するリーフレットを作成し、稲葉クリーンセンターを通じて事業者に配布しました。		ごみ適正排出管理関連経費			4,630					
			ごみ収集運搬業務経費			280,581					
			粗大ごみ戸別収集運搬業務経費			610					
			ごみ・リサイクルカレンダー印刷配布経費			5,395					
			ごみ集積所管理事業経費			5,740					
			その他の経費			0					
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
	ごみ排出方法の周知世帯数	世帯	39,711	39,711	39,735	39,735	39,896	39,896			
1年度決算(千円)	予算額	297,186	特定財源内訳及び補足事項								
	決算額	296,956	(そ) 一般廃棄物処理業許可手数料 138千円								
	財源の状況	国庫支出金	0	(そ) 粗大ごみ戸別収集処理手数料 710千円							
		県支出金	0	(そ) ごみ袋広告手数料 1,080千円							
		地方債	0	(そ) ごみ袋売却代 36千円							
		その他	1,964								
一般財源	294,992										

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	4	2	2	10	1	297,186	296,956	ごみ収集処理費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		これまで埋立ごみとして処理されてきた家庭から出される「蛍光管」について、リサイクルする取り組みをできるだけ早く始める必要があります。							
上記の課題解決のための有効策		蛍光管販売店を回収窓口とした、蛍光管を対象とした新たな回収ルートを構築する必要があります。							
次年度に向けての取り組み		蛍光管販売店を窓口に市民から蛍光管を回収し、中間処理施設に運んだ後、再資源化施設まで届ける、蛍光管リサイクルの流れを構築します。							

1 事業概要

		課名	環境課	事業No.	157
事務事業名		会計	一般会計		
		事業区分	経常	実施区分	継続
		開始		終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画				
	分野別計画			飯田市環境基本計画（21' いいだ環境プラン）	
				飯田市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画	
				飯田市分別収集計画	
法令・例規等	○		廃棄物の処理及び清掃に関する法律		
			廃棄物の処理及び清掃に関する条例		
事業目的	対象	市内から発生する家庭系一般廃棄物（埋立ごみ）			
	意図	適正な処理、水質の管理			

2 事業内容

1年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)				
		・市民から排出される埋立ごみについて適切に埋め立て処分することができました。 ・稲葉クリーンセンター焼却灰について12月から3分の2をリサイクル処理に回すようになり、搬入量が大幅に減りました。		埋立ごみの適正処理				32,416			
			水処理施設の維持管理				24,375				
			旧処分場の維持管理				2,676				
			その他の経費				0				
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
	年間受入量（火災ごみ、焼却灰を除く）	t	1,650	1,374	850	985	1,000	1,031			
	年間埋立量（覆土を除く）	m3	2,500	2,765	2,600	2,631	2,700	1,677			
	再資源化量	t	50	71	100	51	30	28			
	水質検査回数	回	12	12	12	12	12	12			
1年度決算(千円)	予算額	73,071	特定財源内訳及び補足事項								
	決算額	59,467	(そ)ごみ処理手数料 5,849千円、(そ)最終処分場搬入ごみ処理手数料 3,655千円、(そ)太陽光発電収入 248千円、(そ)処分場分別資源売却代 240千円、(そ)諸収入 2千円、(そ)繰越金 6,156千円								
	財源の状況	国庫支出金	0	30→1 繰越明許費 6,156千円							
		県支出金	0								
		地方債	0								
		その他	16,150								
一般財源	43,317										

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	4	2	2	11	4	73,071	59,467	一般廃棄物最終処分場管理費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		・環境省の「家庭から排出される水銀使用廃製品の分別回収ガイドライン」に基づき、蛍光管の回収に向けた準備をしました。来年度から本格的に取り組みます。 ・焼却灰のリサイクル化を始めましたが、今後は焼却灰の減量に関する取り組みも必要となります。							
上記の課題解決のための有効策		・焼却灰減量のためには燃やすごみそのものを減らすことが基本であり、どのようなものが減量できるか研究を進めていきます。							
次年度に向けての取り組み		・蛍光管リサイクルが始まるので、回収システムが順調に進むよう努めます。							

1 事業概要

		課名	農業課	事業No.	167
事務事業名		会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
		開始	H27	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画				
	分野別計画	○	地域経済活性化プログラム		
			農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する計画		
			農業振興ビジョン		
法令・例規等		農業の有する多面的機能の発揮に関する法律			
事業目的	対象	生活環境や景観等、農業の持つ多面的機能			
	意図	共同管理による農地の保全、生活環境や景観等の多面的な機能維持			

2 事業内容

1年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)				
		農地の維持・保全を目的として、地域単位で水路の泥上げや植栽等による農村環境の保全活動、水路・農道などの補修や更新を行う12活動組織に対して、多面的機能支払交付金を交付し活動を支援するとともに、急傾斜地など農業生産の条件が不利な地域における農業生産活動を継続する17の集落協定に対し、中山間地域等直接支払交付金を交付し活動を支援しました。また、第5期に向けて促進計画の見直しを行い、特認地区を追加しました。 化学肥料及び化学合成農薬を使用しない有機農業に取り組んでいる「南信州ゆうき人」に対し、環境保全型農業直接支払交付金を交付し活動を支援しました。	中山間地域農業直接支払事業交付金				33,812				
		同 推進事務経費				253					
		多面的機能支払交付金				17,408					
		同 推進事務経費				141					
		環境保全型農業直接支払交付金				29					
		その他の経費				0					
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
	中山間地域等直接支払交付金対象面積	ha	590.5	202.7	205.7	205.8	207.49	206.26			
	多面的機能支払交付金対象面積	ha	-	375.3	374.83	365.5	376.18	376.03			
	環境保全型農業直接支払交付金対象面積	a	-	50	80	51	60	34			
1年度決算(千円)	予算額	53,112	特定財源内訳及び補足事項								
	決算額	51,643	(県) 中山間地域農業直接支払事業交付金(法指定 国1/2、県1/4、特認国1/3、県1/3) 24,164千円								
	財源の状況	国庫支出金	0	(県) 中山間地域農業直接支払推進事業交付金(1/2) 126千円							
		県支出金	37,506	(県) 多面的機能支払交付金(国1/2、県1/4) 13,056千円							
		地方債	0	(県) 多面的機能支払推進交付金(10/10) 140千円							
その他		0	(県) 環境保全型農業直接支払交付金(国1/2、県1/4) 20千円								
一般財源	14,137										

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	6	1	3	16	1	34,598	34,065	中山間地域等直接支払事業費
2	1	6	1	3	34	1	18,451	17,549	多面的機能支払交付金事業費
3	1	6	1	4	25	1	63	29	人と環境にやさしい農業推進事業費
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		多面的機能支払制度、中山間地域等直接支払制度により農地が維持・保全されました。また、中山間地域等直接支払事業に新規に取り組もうとする集落に対し協定締結に向けた支援を行いました。活動継続への不安要因のひとつである事務の煩雑さに対しては、委任事務に関する情報収集をしたものの、具体的な対策の実現には至りませんでした。環境保全型農業直接支払制度は、取組面積が減少してきているため、取組団体の構成員の参画や新たな取組を増やしていく必要があります。							
上記の課題解決のための有効策		多面的機能支払制度、中山間地域等直接支払制度は、引き続き制度の趣旨への理解を求めていくとともに、集落協定の事務負担を軽減するための方策を継続して研究していく必要があります。環境保全型農業直接支払制度は、自然環境の保全に資するため生産団体等への広報活動を行っていく必要があります。							
次年度に向けての取り組み		次期対策期に向け、農業の多面的機能の維持・発揮に向けた活動が継続されるよう、地域での話し合いを行っていただくとともに、制度説明会や農業者等との意見交換会の実施等により、新たに取り組む意欲ある農業者、地域による新規組織の設立を支援します。環境保全型農業直接支払制度は、生産団体等への広報活動を行っていきます。							

1 事業概要

		課名	農業課	事業No.	170
事務事業名		会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
		開始	H29	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画				
	分野別計画			地域経済活性化プログラム	
		○		農業振興ビジョン	
法令・例規等					
事業目的	対象	農村女性、保育所園児、小中学校児童・生徒、中山間地域の農家、体験農園施設			
	意図	リーダーの育成、地域農業の課題解決、遊休農地の活用、食農教育による啓発、都市住民との交流促進			

2 事業内容

1年度 取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)				
	飯田下伊那地域の行事食、郷土食を実践する食ごよみ実践講座は、27名の受講があり、年間をとおして8回の講座を行いました。農村女性2団体の研修会では、会員間の交流促進、地元食材を活用した調理講習等の食育活動を支援しました。千代よこね田んぼの関係団体と、棚田地域振興法の活用に向けた検討を始めました。上村地区の体験農園施設及び農産物加工施設の管理を適正に行いました。関係人口の増加に向け、地元と協働で体験農園施設のお試し住宅を実施しました。下栗地区で取り組まれている耕作支援活動（地域外の応援ボランティア13グループ参加）に対し負担金を支出し、交流と農地維持・保全活動を支援しました。		食ごよみ実践講座運営費		96						
			中山間地域振興プロジェクト事業		600						
			上村体験農園施設管理費		1,209						
			その他の経費		0						
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
	女性リーダー育成講座受講者数	人	45	30	45	28	28	27			
	下栗応援団による遊休農地耕作支援面積	a	50	50	50	50	50	50			
	体験農園施設通年契約者数	人	3	2	3	2	3	3			
	体験農園施設お試し利用件数	件	-	-	-	4	45	22			
1年度 決算 (千円)	予算額	4,479	特定財源内訳及び補足事項								
	決算額	1,905	(県)農村活力創出支援事業交付金(定額)								
	財源の 状況	国庫支出金	0	(そ)上村体験農園施設使用料 945千円							
		県支出金	53	(そ)上村体験農園施設雑入 94千円							
		地方債	0	1→2 繰越明許費 2,500千円							
		その他	1,039								
一般財源	813										

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	6	1	3	32	1	600	600	中山間地域振興プロジェクト事業費
2	1	6	1	3	33	1	108	96	元気な農村づくり推進事業費
3	1	6	1	10	10	3	1,271	1,209	上村農業施設管理費
4	1	6	1	3	32	2	2,500	0	棚田地域振興事業費
5									
6									
7									
振り返り課題認識		農村女性団体では会員の高齢化が進んでいることから、農産物の加工、食文化の伝承やグリーンツーリズムの推進役となるリーダーの育成が必要です。棚田地域振興法の制定を受けて、棚田を活用して地域の活性化につなげていく必要があります。体験農園施設は、設備の老朽化や継続利用者の高齢化による退去により、修繕や活用を進める必要があります。							
上記の課題解決のための有効策		農村女性団体の活動を活性化させていくため、今後の活動の方向性、支援のあり方を検討していく必要があります。指定棚田地域振興活動計画を策定して、地域と連携して活動を進める必要があります。体験農園施設は必要な修繕を行うとともに、利用者を誘致するためのPRを行う必要があります。							
次年度に向けての取り組み		地域内の農村女性団体等の活動を支援する県・JAの事務局と課題を共有し、活動の方向性、支援のあり方等を検討します。国の交付金を活用して棚田を活用した取組の調査・検討を進めるとともに、指定棚田地域振興活動計画を策定します。体験農園施設の屋根葺き替え工事を実施します。また、お試し住宅の運営、PRを行い利用者の誘致に取り組みます。							

1 事業概要

課名		農業課	事業No.	171
会計		一般会計		
事業区分		政策	実施区分	継続
開始			終了	
事務事業名		堆肥センター運営事業		
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
		1		若者が帰ってこられる産業をつくる
	分野別計画	○		地域経済活性化プログラム
				農業振興ビジョン
法令・例規等				
事業目的	対象	家畜排せつ物、食べ物の残さ（生ごみ）、きのこ廃培地		
	意図	リサイクルによる良質な堆肥の生産		

2 事業内容

1年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)		
	(有) いいだ有機に堆肥センターの管理運営業務を委託して、家畜排せつ物、生ごみ、きのこ廃培地を原料にした堆肥の製造・販売を行いました。また、ユニー、JAみなみ信州と連携したリサイクルループ事業に取り組み、JAねぎ部会へ約135トン販売しました。 施設管理においては、市が一次発酵舎と二次発酵舎間の通路の舗装工事を実施したほか、(有) いいだ有機が堆肥製造に必要な施設の修繕、作業機械を導入しました。 (有) いいだ有機の運営体制では、新たに監査役を設置したほか、堆肥製造を行う社員を雇用し、持続可能な法人経営を行うための体制強化に取り組みました。		借地料			135			
			保険料			23			
			道路改修工事費			1,925			
			その他の経費		0				
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度		
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	
	堆肥生産量	t	2,000	2,057	2,000	1,908	2,000	1,803	
	家庭・公共施設等生ごみ搬入量	t	150	722	35	641	35	706	
1年度決算(千円)	予算額	2,374	特定財源内訳及び補足事項						
	決算額	2,083							
	財源の状況	国庫支出金	0						
		県支出金	0						
		地方債	0						
		その他	0						
一般財源	2,083								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	6	1	4	25	4	2,374	2,083	堆肥センター運営事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		管理運営業務を委託する(有) いいだ有機との役割分担により、堆肥センターの施設等の維持管理を行いました。堆肥製造・販売においては、社員のほか雇用人材を確保して良質な堆肥製造に努めましたが、販売量が減少傾向にあるため、堆肥原料の確保に努めるとともに、販売先の確保に向けて(有) いいだ有機と協議・検討していく必要があります。							
上記の課題解決のための有効策		安定した堆肥製造を行うために、引き続き、市と(有) いいだ有機との役割分担により堆肥センター施設等を適切に維持管理する必要があります。堆肥原料を確保し、安定した堆肥製造を行うとともに、(有) いいだ有機や出資する生産団体と連携した販売促進を行い、地域内での利用促進に取り組む必要があります。							
次年度に向けての取り組み		(有) いいだ有機に委託を行い、安定した良質な堆肥を製造、供給できるよう堆肥原料を確保し、堆肥センターの管理運営を行います。施設の日常的な点検に努めるとともに、長期運営計画に基づき必要な修繕等を実施していきます。生産団体と連携し、製造した堆肥の地域内における利用促進に取り組んでいきます。							

1 事業概要

		課名	林務課	事業No.	182
事務事業名		会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
		開始		終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画				
	分野別計画			地域経済活性化プログラム	
		○		飯田市森林整備計画 21'いいだ環境プラン	
法令・例規等					
事業目的	対象	林業関係者、従事者、林業関係団体財産区			
	意図	林業の活性化財産区の運営が円滑に処理される			

2 事業内容

1年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)				
	林業の関係機関や各種団体と連携して林業振興を推進しました。 持続可能に管理された森林から、木材を調達できるようにするため、森林管理（FM）認証を取得した森林から搬出される木材の利用拡大を図りました。 飯田市所有林の保全管理を行いました。		各種団体負担金				2,700				
			臨時職員賃金、事務所経費、研修旅費				5,120				
			森林管理認証木材の需要拡大の経費				193				
		その他の経費				0					
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
	負担金支出団体数	団体	9	9	9	9	9	9			
	施設管理に関する協議	回	5	5	5	5	5	5			
	森林認証材のPR活動	回		1	3	3	3	2			
1年度決算(千円)	予算額	8,350	特定財源内訳及び補足事項								
	決算額	8,013	(そ) 財産区事務繰入金								
	財源の状況	国庫支出金	0								
		県支出金	0								
		地方債	0								
		その他	2,672								
一般財源	5,341										

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	6	2	1	10	1	2,909	2,700	林業総務費
2	1	6	2	2	10	1	5,241	5,120	林業振興一般経費
3	1	6	2	2	10	3	200	193	森林認証システム推進事業費
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識	財産区や生産森林組合の活動が木材価格の低迷、地域における後継者不足などにより、人材面や金銭面など厳しくなっています。								
上記の課題解決のための有効策	森林認証材を含め、地域産材の利用の推進などを進めます。								
次年度に向けての取り組み	森林認証材として、地域での知名度も低いことや消費地である名古屋や東京などでの知名度も低いことから、地元での認証材への理解と東京等での飯田市産の森林認証材の普及を引き続き取り組みます。								

1 事業概要

		課名	林務課	事業No.	183
事務事業名		会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
		開始		終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画				
	分野別計画			地域経済活性化プログラム	
		○		飯田市森林整備計画 21'いいだ環境プラン	
法令・例規等			森林法		
事業目的	対象	民有林及び市有林森林所有者及び市民			
	意図	多面的機能を発揮できる森林の育成と健全な森林としての保管理森林ボランティア等の新たな担い手の確保			

2 事業内容

1年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)			
	1年度取組	森林の持つ多面的機能（水源の涵養、土砂流出の防備、保健休養等の役割）を発揮させるため、森林整備を行った市内の民有林（国有林を除く森林）を対象に、補助金を交付しました。豊川水源基金による整備や分収造林契約に基づく整備を実施しました。森林関係者等の技術力の向上や森林ボランティアの養成など、森林づくりを進める担い手を育成するため、いいだ森林学校を開講し各種講座を実施しました。		森林造成事業に対する補助					2,819	
間伐促進対策事業に対する補助								18,667		
みんなで支える里山整備事業に対する補助								3,818		
里山整備、緩衝帯整備、森林学校の運営								5,604		
豊川水源林の整備								1,637		
分収林の整備								15,073		
その他の経費									0	
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	間伐面積	ha	366	404.29	320	488.15	320	292.27		
	搬出間伐面積	ha	165	87.89	90	78.98	90	55.23		
	間伐を除く森林整備面積	ha	80	61.33	80	45.23	104	35.81		
	間伐作業路開設延長	m	200	500	220	212	0	0		
	豊川水源基金助成金の森林整備面積	ha	5	5	5	5	5	5		
	分収造林契約地の森林整備面積	ha	109	0	109	24.57	22	22		
1年度決算(千円)	予算額		47,781		特定財源内訳及び補正事項					
	決算額		47,618		(県) 森林づくり推進支援金 (10/10) 3,599千円					
	財源の状況	国庫支出金	0	(県) 間伐作業路整備事業補助金 (国1/2) 3,545千円						
		県支出金	8,942	(県) 河畔林整備事業補助金 (9/10) 1,798千円						
		地方債	0	(そ) 豊川水源基金助成金 1,020千円、(そ) 分収造林受託事業収入 15,073千円、						
		その他	18,791	(そ) 繰越金 2,698千円						
一般財源	19,885	30→1 繰越明許費 6,243千円								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	6	2	2	11	1	25,327	25,304	森林造成事業費
2	1	6	2	2	11	6	5,743	5,604	森林づくり推進支援事業費
3	1	6	2	2	28	3	1,637	1,637	水源林対策事業費
4	1	6	2	2	29	3	15,074	15,073	分収造林事業費
5									
6									
7									
振り返り課題認識		林業労働者数の減少、財産区役員の担い手不足、森林所有者の意欲低下による山林放棄等が課題となっています。健全な森林を育成し、市民の関心を高め、多様な主体による森林づくりを推進していく必要があります。							
上記の課題解決のための有効策		森林経営計画促進のため、森林所有者情報の整備を進めます。							
次年度に向けての取り組み		引き続き森林整備を行うための補助金を交付します。市有林を健全な森林として保全していくため、豊川水源基金による整備を行います。森林関係者等の技術力の向上や森林ボランティアの養成など、森林づくりを進める担い手を育成するため、いいだ森林学校を開講し各種講座を実施します。							

1 事業概要

課名		林務課		事業No.		184	
会計		一般会計					
事業区分		政策		実施区分		継続	
開始				終了			
事務事業名		森林集約化事業					
根拠	主要区分	主 記号 計画等名称					
	戦略計画						
	分野別計画	○ 地域経済活性化プログラム					
		飯田市森林整備計画					
		21' いいだ環境プラン					
法令・例規等							
事業目的	対象	民有林					
	意図	集約化及び団地化による森林整備の促進					

2 事業内容

1年度取組	取組内容			経費の内容				事業費(千円)			
	新たに森林法で定められた林地台帳について、林地台帳システムを更新しました。 統合型GISの森林所有者情報の更新をしました。			森林所有者情報・林地台帳の整備				550			
				集約化等に伴う林業事業者への交付金				0			
			その他の経費				0				
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)		単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	森林経営計画策定団地数		団地	3	4	3	8	3	2		
	集約化された森林面積		ha	35	21	30	91	10	0		
1年度決算(千円)	予算額		1,458		特定財源内訳及び補足事項						
	決算額		550								
	財源の状況	国庫支出金		0							
		県支出金		0							
		地方債		0							
		その他		0							
一般財源		550									

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	6	2	2	12	2	1,008	550	集約化支援対策事業費
2	1	6	2	2	12	3	450	0	森林整備地域活動支援事業費
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		民有林における間伐等の森林整備を計画的に促進するためには、小規模な森林所有者の集約化を図り、森林情報を的確に把握する必要があります。							
上記の課題解決のための有効策		森林に係る情報を一元化し、効率的な森林整備を行うため、林地台帳の森林情報の精査・更新をします。							
次年度に向けての取り組み		森林台帳の森林情報について、情報提供また調査により、更新および精度を向上するよう進めていきます。							

1 事業概要

課名		林務課	事業No.	185
会計		一般会計		
事業区分		経常	実施区分	継続
開始			終了	
事務事業名	森林環境教育事業			
	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画	○	地域経済活性化プログラム	
			飯田市森林整備計画	
		21'いいだ環境プラン		
法令・例規等				
事業目的	対象	市民		
	意図	学校教育との連携や、公共施設緑化を契機とした、森林環境に対する市民意識の醸成を図る		

2 事業内容

1年度取組	取組内容	経費の内容		事業費(千円)						
	1年度取組	市内の公共施設に、緑化木の配布を行い緑豊かな環境づくりを実施しました。 児童による緑の少年団活動等を通じ、自然環境や森林づくりの重要性の理解が進みました。	公共施設への緑化木配布		1,265					
緑の少年団の活動支援			300							
その他の経費			0							
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	市内の公共施設に配布した苗木	本	1,300	1,441	1,300	1,208	1,300	1,354		
	緑の少年団活動団体数	団体	6	6	6	6	6	6		
1年度決算(千円)	予算額	1,600	特定財源内訳及び補足事項							
	決算額	1,565	(そ) 緑の募金事務配分金							
	財源の状況	国庫支出金	0							
		県支出金	0							
		地方債	0							
		その他	1,265							
一般財源	300									

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	6	2	2	13	1	1,600	1,565	森林環境保全推進事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		募金額により市への還付金額が変動するため、各地区からの要望本数の査定を行い、全箇所への配布を行い公共施設等の緑化推進を図ることができました。しかし配布植栽した苗木が枯れて、再度要望された箇所があります。							
上記の課題解決のための有効策		配布した苗木の枯損率を減らすには、地域住民による手入れ等が必要です。							
次年度に向けての取り組み		公園、集会所等公共施設に緑の募金還元による緑化木を頒布し、地域住民の協力した活動によりヒートアイランド対策や景観形成を進めます。また、枯損率を低下させるため手入れの確実な実施をお願いしていきます。							

1 事業概要

事務事業名		森林病虫害対策事業		課名	林務課	事業No.	186
				会計	一般会計		
				事業区分	政策	実施区分	継続
				開始		終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称			
	戦略計画						
	分野別計画			地域経済活性化プログラム			
		○		飯田市森林整備計画			
			21いいだ環境プラン				
法令・例規等			森林病虫害防除法				
事業目的	対象	松（松林）					
	意図	保全する					

2 事業内容

1年度取組	取組内容			経費の内容				事業費(千円)			
	天龍峡等の重点地域、公園等を中心とした保全すべき松林を対象に、伐採駆除(燻蒸)・地上薬剤散布・薬剤樹幹注入等を行い、松くい虫被害の防止を図りました。			被害木の伐倒駆除				14,860			
				地上薬剤の散布業務				4,158			
				樹幹注入剤利用による松林の保全				1,518			
			その他の経費				0				
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)		単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	伐倒駆除くん蒸・破砕		m3	238	728	250	734	250	498.23		
	地上薬剤散布		ha	20	20	20	20	20	18.94		
	樹幹注入		本	130	75	130	103	130	68		
1年度決算(千円)	予算額		20,536	特定財源内訳及び補足事項							
	決算額		20,536	(県)松林健全化推進事業補助金(伐倒 国1/2、県1/2、県1/4、衛生伐 県7/10、地上散布 国1/2 県1/4、樹幹注入 国1/2 県1/4)							
	財源の状況	国庫支出金	0	(そ)松くい虫防除対策事業分担金 51千円							
		県支出金	8,594	(そ)下伊那山林協会工事助成金 168千円							
		地方債	0								
		その他	219								
一般財源		11,723									

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	6	2	2	14	1	20,536	20,536	森林病虫害対策事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		松くい虫による松枯れ被害は依然として沈静化せず、むしろ今まで被害の無かった標高の高い地域へ拡大しつつあります。全量駆除による被害対策は限界にきており、守るべき松林について重点化を図り、集中的に被害拡大防止対策を図る必要があります。							
上記の課題解決のための有効策		守るべき松林に対し重点的に事業を導入し、被害拡大を防止します。							
次年度に向けての取り組み		効果的に成果が発揮できるよう重点化を図り事業を進めていきます。							

1 事業概要

		課名	林務課	事業No.	187	
事務事業名		会計	一般会計			
		事業区分	政策	実施区分	継続	
		開始		終了		
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称		
	戦略計画					
		分野別計画	○	地域経済活性化プログラム		
				飯田市森林整備計画		
	法令・例規等		21'いいだ環境プラン			
		鳥獣保護法				
		鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律				
事業目的	対象	有害鳥獣				
	意図	農林産物被害を防止し、良好な森林形成を図る				

2 事業内容

1年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)				
	有害鳥獣捕獲活動の実施により、農林業者の生産意欲等の低下防止に貢献ができました。 人工林におけるカモシカの食害被害の拡大を防止するため、県が定めた特定鳥獣保護管理計画(カモシカ)の捕獲計画に基づき個体数調整を実施しました。 南アルプスにおける貴重な高山植物等を保護するため、広域連携による食害状況及び植生復元活動に参加・実施をしました。		鳥獣被害対策実施隊員への報酬					1,045			
			カモシカの捕獲					348			
			錯誤捕獲した野生鳥獣の放獣					3,205			
			豚コレラ対応					1,370			
					その他の経費				0		
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
	飯田市鳥獣被害対策実施隊員数	人	223	228	228	228	227	228			
	カモシカ個体調整頭数	頭	5	5	5	5	5	5			
	ユネスコエコパークエリア内のシカ駆除数	頭	850	1,027	850	983	850	1,011			
1年度決算(千円)	予算額	6,823	特定財源内訳及び補足事項								
	決算額	5,968	(県) 野生鳥獣総合管理対策事業補助金(1/2)								
	財源の状況	国庫支出金	0	(そ) 鳥獣飼養登録手数料							
		県支出金	1,602								
		地方債	0								
		その他	71								
一般財源	4,295										

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	6	2	2	15	1	6,823	5,968	鳥獣被害対策事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		飯田市鳥獣被害対策実施隊による捕獲の推進を図っており、人数は確保出来ていますが、銃器での捕獲許可者の高齢化と減少が進んでいます。							
上記の課題解決のための有効策		飯田市連合猟友会および、飯伊連合猟友会の若手会員により結成されてる南信州ハンターズの活動を支援し、若年捕獲者の技術向上と新規狩猟許可者を確保する必要があります。							
次年度に向けての取り組み		有害鳥獣捕獲活動を効率的・効果的に行うため、鳥獣被害対策実施隊員の活動を支援します。新規狩猟者獲得のため飯田市連合猟友会および、南信州ハンターズの活動を支援します。南アルプスにおける貴重な高山植物等を保護するため、広域連携による食害状況及び植生調査及び対策を実施します。							

1 事業概要

事務事業名		林道管理事業		課名	林務課	事業No.	188
				会計	一般会計		
				事業区分	経常	実施区分	継続
根拠		主要区分	主	記号	計画等名称		
		戦略計画					
		分野別計画		地域経済活性化プログラム			
○	飯田市森林整備計画						
法令・例規等			森林・林業基本法				
事業目的		対象	林道				
		意図	機能の維持や通行の安全確保を図る				

2 事業内容

1年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)				
	林道(延長162.2km)の維持補修工事、除草、除雪業務、保守点検など、林道機能の維持や通行の安全管理を行うことで、森林整備の推進や木材搬出経費の削減を図りました。		林道の路面整備				18,210				
			林道沿線の環境整備業務				9,918				
			林道補修用原材料費				1,584				
			林道除雪作業業務				1,957				
			その他				1,510				
その他の経費				0							
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
	林道管理業務	路線	48	48	48	49	49	49			
1年度決算(千円)	予算額		33,633		特定財源内訳及び補足事項						
	決算額		33,179								
	財源の状況	国庫支出金		0							
		県支出金		0							
		地方債		0							
		その他		0							
一般財源		33,179									

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	6	2	2	18	1	33,633	33,179	林道管理事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									

振り返り課題認識	降雨による崩落や落石、倒木等が多く、林道通行者の安全確保が課題です。
上記の課題解決のための有効策	林道利用者と協力し、きめ細やかな管理業務を実施します。
次年度に向けての取り組み	林道の維持補修工事、除草、除雪業務、保守点検など林道機能の維持や通行の安全管理を行います。

1 事業概要

課名		林務課	事業No.	189
会計		一般会計		
事業区分		政策	実施区分	継続
開始			終了	
事務事業名		林道整備事業		
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画			地域経済活性化プログラム
		○		飯田市森林整備計画
法令・例規等			地域再生計画	
			森林・林業基本法	
事業目的		対象	未舗装、未改良部分の林道	
		意図	開設、改良、舗装工事を実施し、森林整備の作業効率や輸送力及び生産性を向上させる	

2 事業内容

1年度取組	取組内容	経費の内容	事業費(千円)
	1年度取組	森林整備や保全管理上、必要不可欠な林道の開設、改良、舗装工事を行い、木材運搬の効率化や通行の安全確保を図りました。また、老朽化した橋梁の補修工事を実施し、長寿命化と将来の架け替えコストの縮減を図りました。	林道の開設(南信濃高平線)
林道の舗装(千遠線)			38,399
林道の改良(国庫補助事業)			175,246
林道の改良(市単独事業)			11,305
その他の経費			0

活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
			林道開設延長	m	200	100	200	228	260	299
林道舗装延長	m	1,000	646	1,200	918	1,000	1,083			
林道改良延長	m	700	772	540	612	559	559			
林道橋梁改良・保全整備箇所	橋	9	7	8	8	7	7			

1年度決算(千円)	予算額	325,185	特定財源内訳及び補正事項								
	決算額	255,497	(県)林道開設事業補助金(国1/2、県1/100) 14,862千円、(県)林道舗装事業補助金(国1/2、県1/100) 18,591千円、(県)林道改良事業補助金(国1/2、県1/100) 85,456千円								
	財源の状況	国庫支出金	0	(地)過疎対策(充当率100%) 35,000千円、(地)公共事業等(充当率90%) 80,300千円							
		県支出金	118,909	(そ)繰越金 373千円							
		地方債	115,300	30→1 繰越明許費 8,224千円 1→2 繰越明許費 69,551千円							
その他		373									
	一般財源	20,915									

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	6	2	2	19	1	30,547	30,547	林道開設事業費
2	1	6	2	2	20	1	38,440	38,399	林道舗装事業費
3	1	6	2	2	21	1	244,802	175,246	林道改良事業費(補助)
4	1	6	2	2	22	1	11,396	11,305	林道改良事業費(単独)
5									
6									
7									

振り返り課題認識	未改良区間が多数あるため、崩落の危険性の高い箇所を効率的に事業を進める必要があります。降雨による崩落や落石、倒木等が多く、林道通行者の安全確保が課題であるため、森林整備や木材搬出が多い路線を対象に重点化を図り経費を縮減します。
上記の課題解決のための有効策	森林整備の推進や生活道路としての路線を重点化し、飯田市森林整備計画や橋梁保全整備計画に基づき、計画的に事業を実施する必要があります。
次年度に向けての取り組み	未改良区間が多くあるため、優先順位を精査し、林道整備計画を見直して、重点化を図る必要があります。

1 事業概要

課名		林務課	事業No.	190
会計		一般会計		
事業区分		政策	実施区分	継続
開始			終了	
事務事業名		治山関連事業		
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画			地域経済活性化プログラム
		○		飯田市森林整備計画
法令・例規等				
事業目的	対象	保安林・治山事業区域内の民有林		
	意図	森林荒廃地の早期回復により保全と再生を図る		

2 事業内容

1年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)		
	森林、道路、人家を守るため、県単の公共治山事業で採択されなかった小規模な箇所を市単独事業で実施しました。飯田市の重要な水源地である松川入地区において、国が進めている民有林直轄治山事業を円滑に行うため、関連改良工事を実施しました。		県治山事業の関連工事				979		
			国直轄治山事業関連の林道松川入線整備				1,339		
			その他の経費				0		
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度		
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	
	治山関連工事	箇所	2	1	2	2	2	2	
	松川入線改良施工延長	m	50	50	50	50	50	13	
1年度決算(千円)	予算額	2,326	特定財源内訳及び補正事項						
	決算額	2,318							
	財源の状況	国庫支出金	0						
		県支出金	0						
		地方債	0						
		その他	0						
一般財源	2,318								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	6	2	2	22	2	984	979	治山関連事業費
2	1	6	2	2	25	1	1,342	1,339	直轄治山環境整備事業費
3									
4									
5									
6									
7									

振り返り課題認識	近年、豪雨や台風が多く、土砂災害発生の危険性が年々高まっており、一層の事業推進を図る必要があります。
上記の課題解決のための有効策	優先順位の高い箇所から工法を検討し、効率化を図ります。
次年度に向けての取り組み	保全対象を明確にし、優先順位をつけ実施していきます。

1 事業概要

課名		林務課	事業No.	191
会計		一般会計		
事業区分		政策	実施区分	継続
開始			終了	
事務事業名		森林資源活用推進事業		
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画	○	地域経済活性化プログラム	
			21'いいだ環境プラン	
	法令・例規等			
事業目的	対象	住宅建築主、住宅建設業者、住宅設計事務所		
	意図	間伐材を含めた飯田市産材の利用により、森林整備や林業振興を図る		

2 事業内容

1年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)				
	飯田市産材を一定の割合以上使用して、住宅を新築及びリフォームした建築主、施工した市内の工務店・設計事務所に対しての補助金交付を行いました。それにより木材自給率を高めることができました。		住宅の新築・リフォームに対する補助				2,070				
			その他の経費				0				
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
	飯田市産材を使って建てた住宅戸数	戸	12	10	12	9	12	12			
1年度決算(千円)	予算額	3,497	特定財源内訳及び補正事項								
	決算額	2,070									
	財源の状況	国庫支出金	0								
		県支出金	0								
		地方債	0								
		その他	0								
一般財源	2,070										

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	6	2	2	26	6	3,497	2,070	飯田の木で家を建てるプロジェクト事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		住宅を建てるには、多額の費用がかかり、使用する材も安価な外材や他地域材の利用が多いのが現状であり、いかに木材産業振興のため地元産材の利用を進めるかが課題です。さらなる利用を進めるためには、地域産の木材利用や森林に対する理解を進める必要があります。これまでの活動の検証を行い、木材利用の拡大につなげる展開が必要です。							
上記の課題解決のための有効策		木材利用や森林に対する理解を進めるため、地域ぐるみによる木づかい運動を展開し、飯田市産材利用の拡大を図る必要があります。							
次年度に向けての取り組み		木材の利用を進めるため飯田市産材を使用して、住宅を新築及びリフォームした場合に、補助金を交付することで、木材自給率を高め、まちの木質化につなげます。木の良さを体感してもらうための機会を創設することで、木材利用の拡大を図ります。							

1 事業概要

課名		林務課	事業No.	192
会計		一般会計		
事業区分		経常	実施区分	継続
開始			終了	
事務事業名		森づくり市民活動支援事業		
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画	○	10	豊かな自然と調和し、低炭素なくらしをおくる
	分野別計画			地域経済活性化プログラム
				飯田市森林整備計画
			21'いいだ環境プラン	
法令・例規等				
事業目的	対象	市民・企業		
	意図	森林体験や普及活動を通じた森林づくりへの市民参加を増やす		

2 事業内容

1年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)				
	松川入りにおいて植樹祭を開催し、森林に対する親しみや大切さを感じてもらえる機会を設けることができました。		育樹祭の負担金				247				
			野底山森林公園さくら祭りの負担金				500				
			里山整備の活動支援				84				
		その他の経費				0					
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
	企業・団体等と地域との交流	回	3	3	3	2	2	2			
	イベントへの市民の参加者数	人	5,200	4,031	5,200	3,588	5,200	3,080			
	里山整備活動講習会/H30から	地区			5	2	5	2			
1年度決算(千円)	予算額	2,086	特定財源内訳及び補足事項								
	決算額	831									
	財源の状況	国庫支出金	0								
		県支出金	0								
		地方債	0								
		その他	0								
一般財源	831										

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	6	2	2	26	9	50	0	森林の里親制度推進事業費
2	1	6	2	2	27	5	747	747	森林ふれあい事業費
3	1	6	2	2	27	2	1,289	84	里山整備活動支援事業費
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		木材等の利用や森林に対して関心をもってもらえない状況です。関心を持ってもらえるよう取り組みを続けていく必要があります。							
上記の課題解決のための有効策		森林体験や環境活動等に取り組んでいる企業・団体・NPO・市民等、多様な主体と協働し、普及啓発活動や森林整備を進めていきます。							
次年度に向けての取り組み		地区や集落ごとの地域住民等が森林整備に参画できるよう、森林作業技術の研修を行い、林業技術の習得できる環境を整えます。市民が自然と触れ合いながら体験し、自然の大切さや木材利用、森林保全等の重要性を学ぶことができる環境づくりを進めます。							

1 事業概要

		課名	林務課	事業No.	194	
事務事業名		会計	一般会計			
		事業区分	政策	実施区分	継続	
		開始		終了		
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称		
	戦略計画					
	分野別計画	○	地域経済活性化プログラム			
			飯田市森林整備計画			
			21'いいだ環境プラン			
法令・例規等						
事業目的	対象	野底山森林公園				
	意図	適切に維持管理を行い、利用の拡大を図る				

2 事業内容

1年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)				
	公園の利用者のさらなる拡大のために、観光分野と連携した体験プログラムの検討や公園をフィールドにしたイベントなどを行うことで、利用拡大を図りました。		施設管理業務の委託料				9,937				
			施設に関する修繕料等				121				
			建物の火災保険料				76				
			A E D 借り上げ料				71				
			その他				425				
その他の経費				0							
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
	年間延べ利用者数	人	41,000	50,444	45,000	53,130	53,000	56,581			
1年度決算(千円)	予算額	10,887	特定財源内訳及び補足事項								
	決算額	10,630	(そ) 太陽光発電収入 143千円								
	財源の状況	国庫支出金	0	(そ) 野底山森林公園管理棟賃貸借料 119千円							
		県支出金	0								
		地方債	0								
		その他	262								
一般財源	10,368										

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	6	2	3	10	1	10,887	10,630	森林公園一般経費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識	キャンプ場の利用者から、施設の老朽化について提案があり、区画の大きさやかまどなど対応が求められています。利用者の増加を求める声と静かな公園を求める声があり、方向性の検討が必要な時期となっています。								
上記の課題解決のための有効策	キャンプ区画の大きさの見直しや土の入れ替えなど改修を行います。公園の目指す姿を検討してまいります。								
次年度に向けての取り組み	公園の指定管理者である地元上郷のまちづくり委員会と検討してまいります。安全安心に利用できるように施設の改修を行ってまいります。								

1 事業概要

		課名	金融政策課	事業No.	200
事務事業名		会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
		開始	H23	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画	○	1	若者が帰ってこられる産業をつくる	
			2	飯田市への人の流れをつくる	
	分野別計画			地域経済活性化プログラム	
法令・例規等			飯田市中心小企業支援補助金交付要綱		
			飯田市起業家発掘事業実施要綱		
事業目的	対象	飯田市の区域で起業・新事業に挑戦しようとする者			
	意図	起業・新事業展開の実現			

2 事業内容

1年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)				
	起業家ビジネスプランコンペティションは新人起業家部門で大賞1名、準大賞2名、特別賞1名を決定し例年になく盛況となりました。飯田市新事業創出支援協議会I-Portでは新たに4件の支援決定をしたほか協力機関として関東経済産業局が新たに支援機関として加わりました。また加盟機関全体会を開催し今後の連携支援について意見交換を行いました。I-Port専用メディアである「ハジメマシテ、飯田」による情報発信はフォロワー数2,000人を超え前年度比800人程の増加となりました。また、起業相談者数、起業関連中小企業振興資金の利用者は前年度対比微減となりましたが、依然高い数字となっています。		起業家発掘事業の実施				4,931				
			新事業創出支援協議会I-Portの運営				4,590				
			創業塾の開催				64				
			起業関連中小企業振興資金借入者への利子補給				920				
			専門家派遣事業等				184				
その他の経費				86							
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
	起業講座の開催回数	回	6	6	6	6	6	6			
	起業家発掘事業の開催回数	回	1	1	1	1	1	1			
	I-Portの連携支援決定事業者数	事業者		3		7		4		4	
1年度決算(千円)	予算額	12,406	特定財源内訳及び補足事項								
	決算額	10,775									
	財源の状況	国庫支出金	0								
		県支出金	0								
		地方債	0								
		その他	0								
一般財源	10,775										

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	7	1	3	10	3	12,166	10,591	起業家育成支援事業費
2	1	7	1	3	10	4	240	184	中小企業経営安定支援事業費
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		ビジネスプランコンペはエントリー期間とエントリー期間締め切り後の説明会&交流会の開催により過去最高の応募者となりました。I-Portについては全体会を開催し今後の在り方、課題について協議を行いました。「ハジメマシテ、飯田」については、目標としていたフォロワー数を達成しましたが、効果的なメディアとしていくために更なるフォロワー獲得に努めてまいります。							
上記の課題解決のための有効策		ビジネスプランコンペについては令和元年度と同様の方策が効果的と考えます。一方で現下の新型コロナウイルス感染症の拡大を受け中小零細事業者の経営が逼迫していることを踏まえこうした課題解決をテーマとしたコンペも選択肢の一つであると考えます。「ハジメマシテ、飯田」はSNS広告を活用しフォロワーの獲得を図ります。							
次年度に向けての取り組み		ビジネスプランコンペについては、新型コロナウイルスへの対応をテーマとして開催します。I-Portについては支援決定後一定期間(3年間程度)経過後の事業者について対応方針を決定します。「ハジメマシテ、飯田」についてはSNS広告を有効に活用しフォロワーの大幅増加を目指します。							

1 事業概要

		課名	金融政策課	事業No.	201
事務事業名		会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
		開始	S46	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画				
	分野別計画			地域経済活性化プログラム	
	法令・例規等	○	飯田市中小企業振興資金融資あっせん規則		
事業目的	対象	市内の中小企業者等（中小企業者・個人事業者・中小企業団体）			
	意図	経営安定、事業拡大等のための運転資金又は設備資金の調達の容易化			

2 事業内容

1年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)		
	金融政策課の基幹業務である中小企業振興資金を正確かつ適正に運用しました。当市扱い分の融資あっせんはH30年度の388件・2,256,630千円に対し、本年度は444件・2,540,670千円となり件数金額とも増加しました。これは年度終盤にきて発生した新型コロナウイルス感染症の経済に与える悪影響による資金繰り対応による増加と捉えています。新型コロナウイルス感染症対応として当市独自の「新型コロナウイルス対策借換え支援補助金」の創設し中小企業の資金繰りを支援しました。創業関連資金は引き続き高水準にありますが今後のコロナウイルスの影響が懸念されるところです。		中小企業振興資金保証料補助					67,978	
			中小企業振興資金貸付預託金					1,300,000	
				その他の経費		0			
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度		
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	
	中小企業振興資金の制度見直し実施回数	回	1	1	1	1	3		
1年度決算(千円)	予算額	1,500,000	特定財源内訳及び補足事項						
	決算額	1,367,978	(そ)中小企業振興資金貸付預託金回収金						
	財源の状況	国庫支出金	0						
		県支出金	0						
		地方債	0						
		その他	1,300,000						
一般財源	67,978								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	7	1	3	11	1	1,500,000	1,367,978	中小企業金融対策事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		制度資金全般では安定した運営ができていました。一方で新型コロナウイルス感染症によるセーフティネット保証や危機関連保証等の認定業務など対応が発生し、また、それらに対応する資金メニューの改正などを行っています。これらの業務は中小企業者の待った無しの資金繰り対応に直結するため迅速な処理が必要となっています。							
上記の課題解決のための有効策		新型コロナウイルスに対応する業務については正確性に加え迅速性が求められています。飯田商工会議所中小企業相談所や金融機関と連携を密にし対応します。また、必要に応じて新たな資金メニューや補助制度などを検討してまいります。							
次年度に向けての取り組み		厳しい経済情勢下ではありますが、創業・起業関連やI-Port資金の活用を通じた新事業創出を中小企業振興資金の運用により支援してまいります。また、新型コロナウイルス感染症による一連の業務については迅速に処理することを主眼に業務改善を図ってまいります。							

1 事業概要

事務事業名		社会基盤維持管理事業		課名	土木課	事業No.	232	
				会計	一般会計			
				事業区分	経常	実施区分	継続	
根拠		主要区分	主	記号	計画等名称			
		戦略計画						
		分野別計画	○	飯田市舗装長寿命化修繕計画				
				橋梁長寿命化修繕計画				
法令・例規等		建設リサイクル法						
事業目的		対象	飯田市が管理する道路、河川、水路					
		意図	道路、河川、水路の維持管理					

2 事業内容

1年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)				
	老朽化などにより傷んだ道路・橋梁・河川・排水路を早期に発見・補修すると共に、付属施設の維持管理を計画的に行っていくことで、効率的、経済的に社会基盤の強化を図りました。 また、沿道の支障木や街路樹の管理、冬期の除融雪などを適期に行うことで、安全な交通の確保を図りました。	道路補修事業						218,773			
道路舗装補修事業						232,358					
道路維持管理事業						39,519					
除雪費						77,870					
橋りょう補修事業						19,620					
河川維持補修事業						11,991					
りんご並木管理費						3,572					
街路管理費						28,145					
その他の経費						0					
活動指標		指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
	社会基盤維持補修工事	個所	350	298	350	413	350	358			
	施設補修用資材支給個所	個所	150	140	150	108	150	150			
	舗装補修工事	個所	200	248	200	212	200	198			
	社会基盤維持管理業務委託	個所	70	43	70	76	65	72			
1年度決算(千円)	予算額		676,210								
	決算額		631,848								
	財源の状況	国庫支出金	13,246								
		県支出金	0								
		地方債	46,300								
		その他	15,440								
一般財源		556,862									
特定財源内訳及び補正事項 (国) 社会資本整備総合交付金(除雪) (2/3) (地) 過疎対策(充当率100%) 11,600千円 (地) 公共施設等適正管理(充当率90%) 34,700千円 (そ) 繰越金 30→1 繰越明許費 15,440千円 1→2 繰越明許費 9,300千円											

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)	
1	1	8	2	2	10	1	223,229	218,773	道路補修事業費	
2	1	8	2	2	11	1	244,674	232,358	道路舗装補修事業費	
3	1	8	2	2	12	1	40,816	39,519	道路維持管理事業費	
4	1	8	2	2	12	2	100,190	77,870	除雪費	
5	1	8	2	4	10	1	23,564	19,620	橋りょう補修事業費	
6	1	8	3	2	10	1	11,992	11,991	河川維持補修事業費	
7	1	8	4	3	10	3	31,745	31,717	街路管理費	
振り返り課題認識		多くの水路、道路施設等の経年劣化・老朽化による損傷個所が増加する中、迅速に対応する必要があります。 特に舗装補修工事を依頼しても、施工業者の手が回らず工事の見送りや繰越が発生しています。 災害を未然に防ぐために緊急性の高い個所から修繕、補修を行っていますが、すべての個所の対応ができない状況です。 委託業者社員の高齢化・人出不足のため、維持工事及び除雪対応が難しくなる地域が今後出る事が予想されます。								
上記の課題解決のための有効策		市道の管理方針による点検を行い、市道の重要度を勘案した修繕・補修を進めます。 早期発注による維持補修工事の推進を進めます。 維持補修体制及び除雪体制の見直しの検証を進めます。								
次年度に向けての取り組み		橋梁長寿命化修繕計画にもとづいた維持補修を実施します。 維持補修、除雪体制に係わる業者との懇談会を行います。 地区要望で提出された維持補修依頼の早期実施に取り組みます。								

1 事業概要

事務事業名		天竜川総合学習館管理運営事業		課名	管理課	事業No.	239
				会計	一般会計		
				事業区分	政策	実施区分	継続
				開始	H14	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称			
	戦略計画						
	分野別計画						
	法令・例規等	○	天竜川総合学習館管理運営要領				
事業目的	対象	1 幼児、市内小中学生及び一般市民（市民） 2 講座参加者					
	意図	生涯学習、環境学習、河川防災等の講座を開催し、自然・環境・防災等に対する意識の高揚を図る。					

2 事業内容

1年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)				
	天竜川の災害や自然環境の展示や企画展示を行い、一般観覧者に対応するとともに、週1~2回の講座開催による環境等の学習を推進しました。また、小中学校などの総合学習の場としても積極的に活用していただき、河川やこの地域の自然・環境・歴史・文化などを題材にした生涯学習の推進を図りました。 ・かわらんべ講座の開催 96回 ・かわらんべ祭りの開催 7月27日		環境学習等の開催及び施設の管理				7,934				
				その他の経費				0			
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
	講座開催数	回	100	105	105	105	105	96			
	来園、来校回数	回	60	59	60	63	60	62			
	来館者数	人	32,000	34,308	32,000	31,474	32,000	29,609			
1年度決算(千円)	予算額	8,329	特定財源内訳及び補足事項								
	決算額	7,934	(そ) ふるさと寄附金								
	財源の状況	国庫支出金	0								
		県支出金	0								
		地方債	0								
		その他	200								
一般財源	7,734										

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	8	3	1	12	1	8,329	7,934	天竜川総合学習館管理費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		新型コロナウイルス感染症の影響を受け、天竜川上流河川事務所の指示により3月に閉館した影響で、来館者数、講座数ともに減少しました。今後も、新型コロナウイルス感染症の影響から、事業の休止、縮小は避けられない見込みです。							
上記の課題解決のための有効策									
次年度に向けての取り組み		新型コロナウイルス感染拡大防止のために必要な措置を実施していきます。							

1 事業概要

		課名	地域計画課	事業No.	243
事務事業名		土地利用計画推進事業	会計	一般会計	
			事業区分	政策	実施区分
			開始	H19	終了
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画	○	12	リニア時代を支える都市基盤を整備する	
	分野別計画			国土利用計画、土地利用基本方針、景観計画、緑の基本計画	
法令・例規等			国土利用計画法、都市計画法、景観法、都市緑地法、屋外広告物法		
			土地利用基本条例、土地利用調整条例、都市計画法施行条例、景観条例、緑の育成条例等		
事業目的	対象	飯田市全域			
	意図	計画に基づく土地利用が行われる			

2 事業内容

1年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)				
	・関係するまちづくり委員会と協力し、リニア開通などを見据え土地利用や景観に関する検討を行いました。また、これらの検討に基づき、土地利用基本方針（地域土地利用方針を含む。）の変更を進めました。 ・土地利用計画に係る例規の改正を行いました。		計画検討に係る講師謝礼・旅費				34				
			打合せ等旅費、消耗品その他				709				
		その他の経費				0					
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
	土地利用関係計画の策定・変更	回	2	2	2	3	4	2			
	土地利用計画に係る例規の制定・改正	回	3	6	6	8	6	5			
1年度決算(千円)	予算額	1,324	特定財源内訳及び補足事項								
	決算額	743									
	財源の状況	国庫支出金	0								
		県支出金	0								
		地方債	0								
		その他	0								
一般財源	743										

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	8	4	1	10	5	1,230	699	土地利用基本方針策定事業費
2	1	8	4	1	10	6	94	44	景観形成推進事業費
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		・道路、用途地域、特別用途地区、地区計画及び特定用途制限地域に係る都市計画の決定・変更といった状況の変化等に対応し、今後とも適正な土地利用と良好な景観の育成が図られるよう、適宜計画の見直しを行う必要があります。 ・20地区の基本構想・基本計画の策定・改定が進む中で、地域の土地利用計画や景観計画の検討・見直しが必要です。							
上記の課題解決のための有効策		・リニアや三遠南信自動車道の開通を見据え、関係機関や関係する地域との協議により状況を把握するとともに、変化等に対応するため連携して取り組みます。 ・各地域での検討状況に応じ、勉強会の開催や検討組織の支援など引き続き、積極的に地域と連携していきます。							
次年度に向けての取り組み		・リニア時代を見据えた土地利用計画の推進に向けて、関係機関や地域との協議を進めます。また、地域の皆さんとの検討を踏まえ、土地利用基本方針（地域土地利用方針）や景観計画（地域景観計画）の見直しを行うとともに、土地利用や景観のあり方のルールづくりのための取組を進めます。							

1 事業概要

事務事業名 公園維持管理事業		課名	土木課	事業No.	245	
		会計	一般会計			
		事業区分	経常	実施区分	継続	
		開始		終了		
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称		
	戦略計画					
	分野別計画					
法令・例規等		都市公園法				
	○	飯田市都市公園条例				
事業目的	対象	市民、公園				
	意図	公園利用者が安全・安心して利用できる環境整備				

2 事業内容

1年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)				
	都市公園、その他公園における樹木の整枝・剪定・病害虫駆除を実施しました。また遊具、トイレ等の公園施設の修繕・補修工事を14カ所実施し、利用者の安全と快適性を確保しました。		都市公園等維持管理費				64,206				
			(県)風越公園維持管理費				3,706				
		その他の経費				0					
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
	施設の補修箇所数	箇所	25	28	16	23	20	14			
1年度決算(千円)	予算額	71,354	特定財源内訳及び補足事項								
	決算額	67,912	(県)風越公園管理委託金								
	財源の状況	国庫支出金	0	(そ)全国都市緑化信州フェア出展事業受託収入 3,000千円							
		県支出金	3,711	(そ)太陽光発電収入(都市公園) 142千円							
		地方債	0	(そ)繰越金 2,024千円							
		その他	5,166	30→1 繰越明許費 2,024千円							
一般財源	59,035										

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事業	中 事業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	8	4	5	13	1	67,643	64,206	都市公園維持管理費
2	1	8	4	5	13	2	3,711	3,706	(県)風越公園維持管理費
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		樹木の高木化に伴い、剪定、病害虫駆除、落ち葉清掃等の維持管理が増加しています。地元愛護会と連携して維持管理を行っていますが、高齢化、住民減少などの理由により愛護会の活動が縮小しています。							
上記の課題解決のための有効策		落ち葉清掃機の貸与、維持管理に必要な資機材の支給を行い、地域住民の労力軽減を図り、継続した維持管理をお願いしていきます。また、各公園ごとに公園内の樹木のあり方について検討していく必要があると考えています。							
次年度に向けての取り組み		愛護会も高齢化や住民減少による労力低下という問題を抱えているため、落ち葉清掃機やプロア-の貸与を行います。							

1 事業概要

課名		学校教育課	事業No.	265
会計		一般会計		
事業区分		経常	実施区分	継続
開始			終了	
事務事業名		大平宿泊訓練施設管理事業		
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画			
	法令・例規等	○	飯田市大平宿泊訓練施設設置条例 飯田市大平宿泊訓練施設設置条例施行規則	
事業目的	対象	大平宿泊訓練施設		
	意図	施設の良い維持		

2 事業内容

1年度取組	取組内容	経費の内容		事業費(千円)
	1 施設の修理修繕をしました。	施設の修繕	106	
2 施設の維持管理をしました。	施設の管理費用	129		
給水ポンプ等の保守点検、清掃・草刈り、 光熱費・建物保険等の必要経費他	借地料	49		
3 敷地の借地に係わる賃貸借業務をしました。				
	その他の経費	8		

活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	管理施設数	棟	3	3	3	3	3	3		

1年度決算(千円)	予算額		350	特定財源内訳及び補正事項						
	決算額		292	(そ) 大平宿泊訓練施設使用料						
	財源の状況	国庫支出金	0							
		県支出金	0							
		地方債	0							
		その他	91							
一般財源		201								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	1	3	10	2	350	292	大平宿泊訓練施設管理費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		当該年度は、ガラス窓破損及び照明器具の修繕を行いました。 当該施設が歴史的意義を有するものの、施設の維持管理等、今後のあり方を検討する必要があります。							
上記の課題解決のための有効策		自然とのふれあいや環境学習の目的で設置していますが、旧大平宿の周辺施設との関係、観光面からの利活用の観点から、整理していくことも考えられます。							
次年度に向けての取り組み		施設の維持管理等について、今後の方向性を検討します。							

1 事業概要

課名		公民館	事業No.	302
会計		一般会計		
事業区分		政策	実施区分	継続
開始			終了	
事務事業名		学習交流支援事業		
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画			飯田市版総合戦略
				飯田市教育振興計画
		○		飯田市公民館基本方針
法令・例規等			社会教育法	
			飯田市公民館条例	
事業目的	対象	各地区住民、全市民		
	意図	地区の特色を生かした多様で主体的な学びを深め、地域を知り、人とつながる機会となる		

2 事業内容

1年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)				
	・市内20地区において、各地区の特色を生かした多様で主体的な学習交流活動を支援しました。 ・高齢者学級や女性学級等の学級・講座、世代間や地区住民の交流を目的とした事業を実施しました。 ・飯田市成人式、飯田市公民館大会、コーラスグループ発表会、女性バレーボール大会など、多様な分野の学びと交流の機会を提供し、市民の主体的な学習を支援しました。		<各地区>各種学級・講座、交流事業等				1,553				
			<市公>公民館大会、各種学級学習会等				1,938				
			成人式助成金				2,000				
			その他の経費				0				
活動指標			指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
	講座等開催数	回	1,500	1,463	1,500	1,466	1,500	1,484			
	延べ参加者人数	人	45,000	49,823	45,000	50,023	50,000	43,953			
1年度決算(千円)	予算額	6,578	特定財源内訳及び補足事項								
	決算額	5,491									
	財源の状況	国庫支出金	0								
		県支出金	0								
		地方債	0								
		その他	0								
一般財源	5,491										

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	4	11	2	6,578	5,491	公民館事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		・住民の主体的な企画運営による多様な分野の学習交流活動を通じて住民自治の意識を育むため、より地域課題の解決に向けた取組や若手世代が参加しやすい事業展開が必要です。							
上記の課題解決のための有効策		・青年層に対しては、成人式への関わりをきっかけとして地域とつながりを持つ取組の組み立てを行います。 ・地域を担う人材育成につながる講座や学級のあり方をさらに検討します。							
次年度に向けての取り組み		・住民の主体的な企画・運営による事業をさらに進めるとともに、より地域課題や生活課題を捉えた学習・講座を展開します。 ・青年層を対象とした講座の組み立てに取り組みます。							

1 事業概要

		課名	公民館	事業No.	305
事務事業名		環境学習交流支援事業	会計	一般会計	
			事業区分	政策	実施区分 継続
			開始	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画				
	分野別計画			飯田市版総合戦略	
				飯田市教育振興計画	
○			飯田市公民館基本方針		
法令・例規等			社会教育法		
			飯田市公民館条例		
事業目的	対象	各地区住民			
	意図	地域の環境に関心を持ち、住民同士の学習・交流を深め、環境保全や改善活動に取り組んでいる			

2 事業内容

1年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)				
	・ 地区内の身近な自然とのふれあい活動を通じ、住民同士の交流を深め、環境保全や改善活動に取り組む活動を支援しました。 ・ 水辺の楽校、ブッポウソウ保護活動、きのこ山保全活動等を実施しました。		地域資源保全活動、自然・環境学習等				106				
			その他の経費				0				
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
	講座開催数	回	100	68	70	83	90	49			
	延べ参加者数	人	4,400	5,435	4,000	4,596	4,000	2,964			
1年度決算(千円)	予算額	106	特定財源内訳及び補足事項								
	決算額	106									
	財源の状況	国庫支出金	0								
		県支出金	0								
		地方債	0								
		その他	0								
一般財源	106										

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	4	11	2	106	106	公民館事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		・ 自然環境や都市環境、地球規模から身近な生活環境など多岐にわたるなかで、テーマの設定や内容の充実が課題となっています。							
上記の課題解決のための有効策		・ 環境モデル都市推進課や環境課等の関係機関と連携した事業展開を検討していきます。 ・ 公民館の各種講座・活動を、環境の側面からも捉えるなどの工夫を行います。							
次年度に向けての取り組み		・ 環境課からの学習メニューを参考にしながら身近な環境学習に取り組めます。							

1 事業概要

		課名	美術博物館	事業No.	313
事務事業名		会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
		開始	H1	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画	○	4	自然と歴史を守り活かし伝え、新たな文化をつくりだす	
	分野別計画			第2次飯田市教育振興基本計画	
				飯田市美術博物館2028ビジョン・基本プラン	
法令・例規等			博物館法		
			飯田市美術博物館条例		
事業目的	対象	伊那谷に存在する自然、人文、美術に関する事象や資料			
	意図	調査、研究、整理し、活用できる状態にする			

2 事業内容

1年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)				
	・自然・人文・美術に関する調査研究を行い、その成果を展覧会や講座等に活用しました。また、研究成果は学会発表や学術雑誌、研究紀要、伊那谷自然史論集などで公表しました。 ・調査研究および展示の充実のために必要な資料等の取得を、計画的に行いました。また必要に応じて資料等の購入を行い、寄贈・寄託を受けました。 ・資料等を整理登録しデータベース化を進め、公開や閲覧に供しました。 ・傷んだ資料の修復を行いました。		専門研究員等賃金					10,872			
			自然調査研究費					1,329			
			人文調査研究費					1,378			
			美術調査研究費					547			
			図書整理公開費					336			
			自然史論集印刷					247			
			研究紀要印刷					530			
			図録「信州飯田領主堀候」増刷					880			
			その他の経費					0			
活動指標			指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
	研究発表数	件	12	40	24	52	24	47			
	資料登録件数/美術資料作品登録点数	点	300	384	200	9	20	18			
	資料修復点数	点	6	41	3	3	4	35			
	図書室の開室日数	日	110	111	108	106	112	116			
	人文資料登録点数	点			100	174	100	322			
	自然資料登録点数	点			100	611	100	1,575			
1年度決算(千円)	予算額	18,773	特定財源内訳及び補足事項								
	決算額	16,119	(そ) 諸収入								
	財源の状況	国庫支出金	0								
		県支出金	0								
		地方債	0								
		その他	855								
一般財源	15,264										

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	6	11	27	18,773	16,119	美術博物館資料調査研究・収集保管事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		・地域に根ざした魅力的な展覧会や教育普及など博物館活動を行っていくためには、学芸員による継続的な調査研究が必要ですが、令和元年度より、職員の退職に伴い地質分野と民俗分野の学芸員が非正規化となっています。 ・菱田春草記念室の常設化に対応する、収蔵作品や資料の増強と研究、整理が必要です。 ・収蔵資料の増加に伴い、収蔵保管場所の確保について施設の有効活用や工夫が必要です。							
上記の課題解決のための有効策		・正規学芸員の補填を目指しながら、活発な調査研究活動を続けます。 ・菱田春草作品等の増強を図り、傷んだ資料の修復を行います。 ・収蔵資料の整理により効率的な空間利用を模索しながら、収蔵庫の増設も検討を継続します。							
次年度に向けての取り組み		・調査研究で得られた成果を、菱田春草常設展示、自然・文化展示室のトピック展示などで順次紹介していきます。 ・未整理資料の整理・登録を行い活用を図っていきます。 ・引き続き、菱田春草作品等の増強を図っていきます。							

1 事業概要

		課名	美術博物館	事業No.	314
事務事業名		会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
		開始	H1	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画	○	4	自然と歴史を守り活かし伝え、新たな文化をつくりだす	
	分野別計画			第2次飯田市教育振興基本計画	
				飯田市美術博物館2028ビジョン・基本プラン	
法令・例規等			博物館法		
			飯田市美術博物館条例		
事業目的	対象	飯田市民及び下伊那郡住民、観光客 伊那谷に関する自然・人文・美術に関するテーマ、芸術			
	意図	「伊那谷の自然と文化」への理解を深める			

2 事業内容

1年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)															
		<ul style="list-style-type: none"> ・自然展示室と文化展示室をリニューアルし、トピック展示5本を開催しました。 ・菱田春草常設展示10本、美術コレクション展示9本を開催しました。 ・企画展として長野県立歴史館巡回展「長野県の考古学～時代を映す“匠”の技～」を開催しました。 ・特別陳列として「塚原琢哉写真展遙かなる遠山郷～60年前の下栗とその民俗～」を開催しました。 ・第20回記念「現代の創造展-南信州のアートを共に創る-」を開催しました。 ・子ども美術学校作品展を開催しました。 		常設展示リニューアル(共通)	6,424	常設展示リニューアル(人文)	5,533	常設展示リニューアル(自然)	2,635	菱田春草常設展示	2,844	コレクション展示他美術展示	1,884	特別陳列「塚原写真展」	989	柳田國男館展示	92	日夏耿之介記念館展示	54	30周年記念事業	284	その他の経費
活動指標	指標名(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度													
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績												
	展覧会の数(更新を含む)	本	17	17	23	23	28	28														
	観覧者数	人	32,000	33,208	30,000	30,361	37,000	31,795														
1年度決算(千円)	予算額		29,162								特定財源内訳及び補足事項											
	決算額		20,739								(そ)ふるさと寄附金 12,022千円											
	財源の状況	国庫支出金	0								(そ)諸収入 220千円											
		県支出金	0																			
		地方債	0																			
		その他	12,242																			
一般財源		8,497																				

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	6	11	28	29,162	20,739	美術博物館展示公開事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		<ul style="list-style-type: none"> ・自然・文化展示室をリニューアルし、それぞれにトピック展示コーナーも新設しました。この展示をより魅力あるものにする必要があります。 ・「伊那谷の自然と文化」を紹介し伝える企画展や、菱田春草の名品を紹介する特別展等を、計画的に開催していく必要があります。 							
上記の課題解決のための有効策		<ul style="list-style-type: none"> ・日本で唯一の菱田春草作品常設館として、新たな情報の発掘や発信に努めます。 ・地域の魅力を紹介した展覧会、地域と協働した展覧会等を、長期的視野に立って継続することが有効です。 							
次年度に向けての取り組み		<ul style="list-style-type: none"> ・菱田春草常設展示の充実を図ります。また、令和3年度の春草没後110年を記念する特別展に向けた準備を行います。 ・地域や学校と連携した展覧会を企画します。 							

1 事業概要

課名		美術博物館	事業No.	315
会計		一般会計		
事業区分		政策	実施区分	継続
開始		H1	終了	
事務事業名		美術博物館教育普及・活動支援事業		
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画	○	4	自然と歴史を守り活かし伝え、新たな文化をつくりだす
	分野別計画			第2次飯田市教育振興基本計画
				飯田市美術博物館2028ビジョン・基本プラン
法令・例規等			博物館法	
			飯田市美術博物館条例	
事業目的	対象	飯田市民及び下伊那郡住民		
	意図	「伊那谷の自然と文化」の特性と魅力を美術博物館で学び合う		

2 事業内容

1年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)			
		<ul style="list-style-type: none"> ・総合的な教育普及活動として、美博まつり、びはく学芸祭を行いました。 ・自然部門では、自然講座、子ども科学工作教室、子ども地球探検隊、天文教室、化石標本室ワークショップ、自然史発表会など行いました。 ・人文部門では文化講座、古文書講座、藤本四八氏を顕彰する子ども写真教室・小中高校生写真賞の事業を行いました。 ・美術部門では、美術講座、春草講座、美術鑑賞の会、日本画実技講習、子ども美術学校を行いました。 ・市民ギャラリーの運営と伊那谷研究団体への支援をしました。 	<ul style="list-style-type: none"> 専門研究員等賃金 2,478 自然部門教育普及 290 人文部門教育普及 361 美術部門教育普及 408 総合教育普及 861 研究費助成 400 その他の経費 0 							
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	講座等開催数	回	93	185	105	175	160	172		
	講座等参加者のべ人数	人	7,000	7,138	5,500	5,017	5,500	6,235		
	美博まつり参加者数	人	2,000	1,988	2,000	1,508	1,000	1,283		
	市民ギャラリー観覧者数	人	15,000	16,410	15,000	17,635	15,000	17,963		
1年度決算(千円)	予算額		7,293		特定財源内訳及び補足事項					
	決算額		4,798		(そ)美術博物館施設使用料 327千円					
	財源の状況	国庫支出金	0		(そ)美術博物館講座受講者負担金 307千円					
		県支出金	0		(そ)諸収入 100千円					
		地方債	0							
		その他	734							
一般財源		4,064								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	6	11	29	7,293	4,798	美術博物館教育普及・活動事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		<ul style="list-style-type: none"> ・博物館の利用が児童生徒にとって有益な体験となるための踏み込んだ仕組みを作ることが必要ですが、スタッフの体制がやや脆弱化しているなかで他の教育普及事業も同時進行していかなければならない状況です。 ・一般向けの講座の受講者の高齢化が進んでいます。新たな年齢層を開拓する取り組みが必要です。 							
上記の課題解決のための有効策		<ul style="list-style-type: none"> ・従前の教育普及事業の精査を行い、学校利用に向け人員の確保と受け入れ体制を構築します。 ・一般向けの講座への新たな年齢層を開拓する取り組みが必要です。 							
次年度に向けての取り組み		<ul style="list-style-type: none"> ・次年度は、小学校6年間の内最低1回は事業として来館してもらえらる仕組みが構築されます。これに向け学校を受け入れるためのスケジュール調整や学習プログラムの準備やその充実に取り組みます。 ・新たな講座の開催方法や情報発信を検討し実施します。 							

1 事業概要

課名		美術博物館	事業No.	316
会計		一般会計		
事業区分		政策	実施区分	継続
開始		H1	終了	
事務事業名		美術博物館プラネタリウム運営事業		
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画	○	4	自然と歴史を守り活かし伝え、新たな文化をつくりだす
			3	地育力が支える学び合いで、生きる力をもち、心豊かな人材を育む
	分野別計画			第2次飯田市教育振興基本計画
				飯田市美術博物館2028ビジョン・基本プラン
法令・例規等			博物館法	
			飯田市美術博物館条例	
事業目的		対象	飯田市民及び下伊那郡住民	
		意図	ふるさとの自然・文化・星空・景観のすばらしさを学び、地域を大切にすることを育む	

2 事業内容

1年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)				
		・ 投影スケジュールの見直しをおこない、土日祝は幼児向け投影と一般投影を、平日は学校や市民グループを対象に予約投影をおこないました。また保健課と連携して乳幼児学級向けの予約投影をおこないました。 ・ 「飯田・宇宙教育」ではスタンプラリーや地域での星空観望会をおこない、市民が星とふれあう機会を増やしました。また、「飯田天文ネットワーク」を立ち上げ、天文宇宙に関する市民のつながりをつくり、情報交換や勉強会をおこないました。 ・ 展示のICT事業と連携して、全地球映像とドーム映像の効果的な活用について検討をすすめています。	投影員・投影員補助等賃金	2,838	一般番組制作(委託)	3,916	飯田・宇宙教育事業	262	チラシ・リーフレットなど(印刷)	632	
		協議会や研修関係(旅費)	150	機器の保守管理費	637	著作権料・事務・管理費・消耗品費	812	その他の経費	0		
活動指標	指標名(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
	プラネタリウム観覧者数	人	17,000	13,497	13,000	12,471	14,000	12,647			
	プラネタリウム投影回数	回	1,000	858	800	786	800	640			
	ドームイベント回数	回	10	11	10	11	12	12			
	オリジナル番組制作数	本	1	1	1	1	0	0			
	宇宙天文教育回数(観望会・館外活動)	回	10	16	10	16	15	22			
	飯田天文ネットワーク活動回数	回						13			
1年度決算(千円)	予算額	9,555	特定財源内訳及び補正事項								
	決算額	9,247	(そ)美術博物館観覧料								
	財源の状況	国庫支出金	0								
		県支出金	0								
		地方債	0								
		その他	1,230								
一般財源	8,017										

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	6	11	30	9,555	9,247	美術博物館プラネタリウム運営事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		・ 投影スケジュールの変更により予約投影枠を増やし、新たに保健課の乳幼児学級との連携事業などをおこないましたが、学校や一般団体の利用はあまりのびませんでした。 ・ 「飯田・宇宙教育」では飯田天文ネットワークを立ち上げ活動を開始しましたが、事務局主導の活動が多くなりました。							
上記の課題解決のための有効策		・ 予約投影の案内パンフレットの内容やデザインを刷新し、学校や公民館、地域の団体等に、予約投影の活用方法について具体的な提案をします。 ・ 飯田天文ネットワーク参加者や高校の天文部員など、地域の人材に積極的にかかわってもらおう企画を検討します。							
次年度に向けての取り組み		・ 小中学校向けの理科教育支援の学習番組を導入し、新しい投影プログラムを提案します。 ・ プラネタリウムの多面的活用について情報を収集し、関係団体等との連携を探ります。 ・ 運用方針をまとめ、次世代プラネタリウムについて調査し、機器更新について検討します。							